

**令和 7 年度**  
**川口市障害者福祉計画**  
**(令和 6 年度～令和 1 1 年度)**  
**評価報告書**

## 目的

本報告書は、令和6年3月に策定した川口市障害者福祉計画に基づく評価報告書として作成したもので、当該計画の体系をベースに、基本目標及び施策単位での目標達成状況と課題を報告するものです。

### 川口市障害者福祉計画

本計画に基づく施策の進捗状況を把握するとともに、本計画全体の成果についても点検・評価することが重要であることから、EBPM（証拠に基づく政策立案）に基づき、計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）のPDCAサイクルによる継続的な改善を図りながら推進していきます。

本報告書はこのサイクルの評価（Check）を目的としています。

## 報告対象期間

令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

## 注意事項

令和7年度の評価に伴い、新たに設定する令和9年度・令和10年度の目標値及び令和11年度の目標値の修正については、本評価報告書の作成時点での目標値（案）とし、第8期川口市障害者自立支援福祉計画及び第4期障害児福祉計画（令和9年度～令和11年度）の策定において、確定した目標値の掲載を予定しています。

# 目次

## 川口市障害者福祉計画について 1

---

計画の位置づけと進行管理 2

計画の概要 3

施策の体系 4

## 基本目標の達成状況について 7

---

## 基本目標達成のための施策の達成状況について 11

---

施策(1) 障害者の権利擁護の推進 14

施策(2) 啓発活動・福祉教育の推進 16

施策(3) 地域における支えあい活動の促進 20

施策(4) 障害者への合理的配慮の推進 24

施策(5) 障害児への合理的配慮の推進 27

施策(6) 相談体制の充実 28

施策(7) 日常生活を支える福祉サービスの充実 31

施策(8) 地域生活への移行促進 36

施策(9) 生活支援のための施策・制度の推進 40

施策(10) 雇用・就労の促進 42

施策(11) スポーツ・レクリエーション、生涯学習の充実 47

施策(12) 障害者の外出支援と移動手段の確保 50

施策(13) 早期発見・早期療育 55

施策(14) 発達相談支援 57

施策(15) 障害児保育と療育体制の充実 59

施策(16) 特別支援教育の推進 67

施策(17) 保健活動の充実 70

施策(18) 医療体制の充実と経済的負担の軽減 75

施策(19) バリアフリーのまちづくりの推進 78

施策(20) 防災・防犯対策等の充実 82



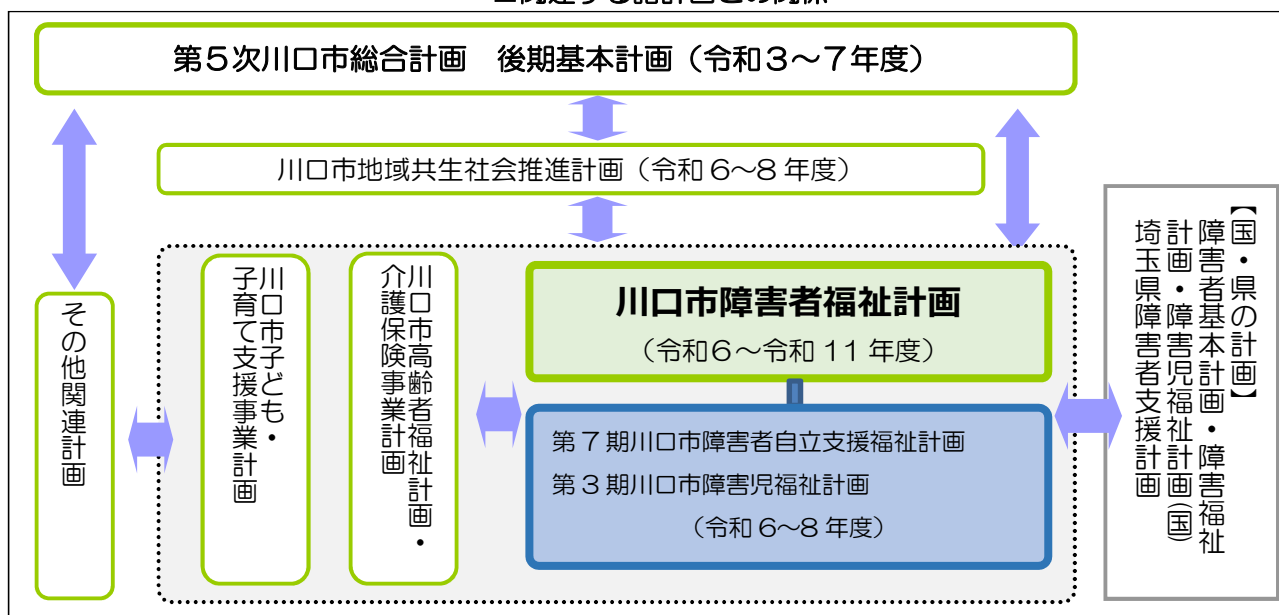


# 川口市障害者福祉計画について

# 計画の位置づけと進行管理

## 位置づけ

### ■関連する諸計画との関係



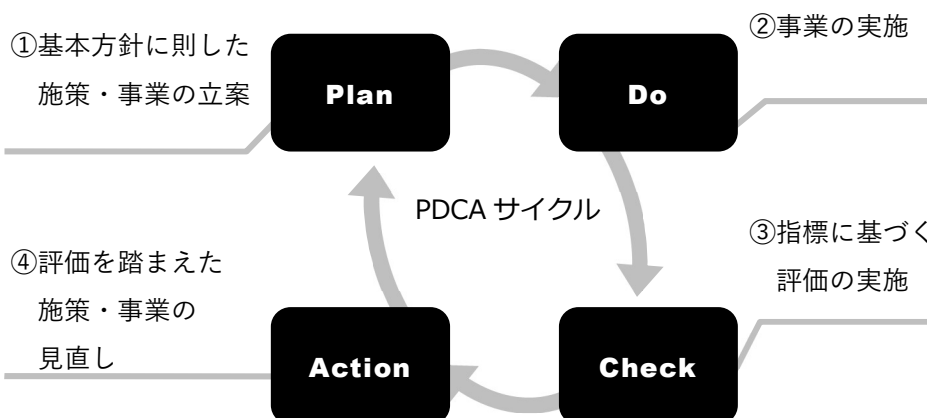
## 川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会

障害者福祉計画、障害者自立支援福祉計画、障害児福祉計画の策定及び計画の推進に関する事項を調査審議し、その結果を市長に提言します。

## 進行管理

本計画に基づく施策の進捗

状況を把握するとともに、  
本計画全体の成果についても点検・評価することが重要であることから、PDCA  
サイクルによる継続的な改善を図りながら推進していきます。



# 計 画 の 概 要

## 川口市障害者福祉計画

### ■ 計画の目的

川口市障害者福祉計画は、障害者基本法第 11 条第 3 項に基づく法定計画であり、本市における障害者に関する総合的な施策について基本計画として定めるものです。

### 【施策の内容】

障害者の権利擁護、社会参加、保健・医療・福祉、療育、教育、移動手段・生活環境、市民への意識啓発など様々な施策を定めます。また、障害者自立支援福祉計画に位置づけられている障害福祉サービスのあり方も包含します。

### ■ 計画の期間

**令和 6 年度**  
2024 年



**令和 11 年度**  
2030 年

6 年間

### ■ 評価指標の設定

本計画では、社会情勢等を踏まえた機動的な施策の見直しを行うために基本目標と取組に定量的な目標（K P I：重要業績評価指標）を設定します。また、評価は目標に対する達成度合に応じて客観的に評価したうえで、その結果を川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分委会に毎年度報告します。

なお、目標に対する達成度合に応じて、次のとおり、S・A・B・C・Dの5段階で評価を実施します。

定量的な目標（K P I）に対して

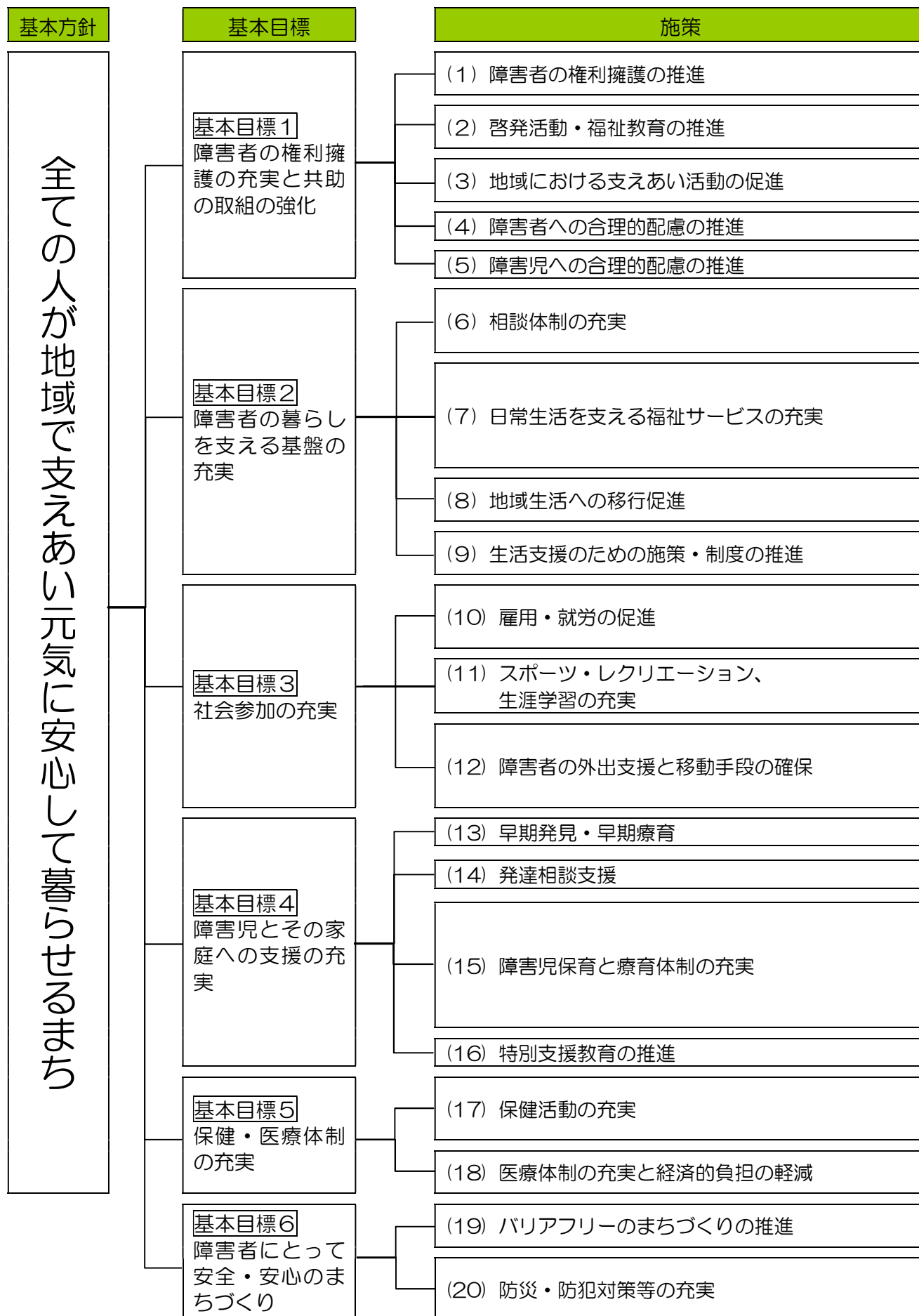
S：120%超

A：100～120%程度

B：80～100%程度

C：50～80%程度

D：50%程度





## 取組

|                                                                                                                            |                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 障害者の権利擁護体制の充実<br>2 障害者虐待防止センター事業                                                                                         | 3 改正障害者差別解消法への対応【新】                                                                                                                      |
| 4 市民への障害に関する正しい理解の促進★<br>5 福祉教育の充実                                                                                         | 6 手話言語普及啓発事業【新】                                                                                                                          |
| 7 障害者団体の活動への補助<br>8 障害者支援を行うボランティア活動の充実                                                                                    | 9 地域生活支援拠点等の充実【新】<br>10 重層的支援体制整備事業の本格実施【新】★                                                                                             |
| 11 障害者の情報取得と意思疎通の支援【一部新】                                                                                                   | 12 選挙における障害者の投票環境の整備                                                                                                                     |
| 13 川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例に基づく取組【新】★                                                                                  |                                                                                                                                          |
| 14 障害に関する総合的な相談体制の充実【一部新】★<br>15 精神保健福祉分野における相談体制の充実<br>16 精神障害者ピアサポート事業                                                   | 17 難病患者支援の充実<br>18 福祉サービスに対する苦情相談                                                                                                        |
| 19 障害福祉サービス基盤の充実★<br>20 日常生活用具等の給付<br>21 生活支援事業<br>22 全身性障害者介助人派遣事業<br>23 ふれあい収集事業                                         | 24 障害者短期入所施設の充実【新】★<br>25 共生型サービスの導入と介護事業所における障害者支援に係る人材の育成【一部新】★<br>26 介助者の人材育成★<br>27 地域生活支援拠点等の充実【新】〈再掲〉★                             |
| 28 障害者の住まいの確保に係る支援★<br>29 障害福祉サービス基盤の充実〈再掲〉★                                                                               | 30 日中サービス支援型グループホームの拡充【新】★                                                                                                               |
| 31 障害者福祉手当等の給付<br>32 福祉手当（市独自）の給付                                                                                          | 33 福祉資金の貸付                                                                                                                               |
| 34 一般就労の促進★<br>35 障害福祉サービス基盤の充実〈再掲〉★<br>36 就労移行支援事業所の拡充★                                                                   | 37 障害者就労施設等における工賃引上げに向けた取組【新】★<br>38 障害者就労施設等への物品等の発注促進★                                                                                 |
| 39 障害者スポーツの振興<br>40 障害者の文化活動への支援                                                                                           | 41 障害者アートの促進【新】                                                                                                                          |
| 42 補助犬の利用に関する理解の促進<br>43 公共料金の割引等の周知<br>44 移動支援事業<br>45 自動車運転免許取得費等の助成                                                     | 46 福祉タクシー・福祉ガソリン利用料金の助成<br>47 障害者手帳のデジタル化【新】<br>48 手話通訳者養成事業<br>49 失語症者向け意思疎通支援者の養成                                                      |
| 50 乳幼児健診等を活用した早期発見                                                                                                         |                                                                                                                                          |
| 51 発達に係る相談体制の充実【新】                                                                                                         | 52 発達障害児支援に係る人材育成                                                                                                                        |
| 53 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）と放課後子供教室の推進★<br>54 インクルーシブ保育の推進★<br>55 障害児サービス基盤の充実★<br>56 医療的ケア児支援の充実★<br>57 重症心身障害児を受け入れる事業所の拡充★ | 58 障害児（者）生活サポート事業★<br>59 わかゆり学園の児童発達支援センター及び保育所等訪問支援の充実★<br>60 障害児を抱える保護者への支援★<br>61 地域生活支援拠点等の充実【新】〈再掲〉★<br>62 重層的支援体制整備事業の本格実施【新】〈再掲〉★ |
| 63 特別支援教育の推進★                                                                                                              |                                                                                                                                          |
| 64 精神保健福祉に関する市民向け講座等の開催<br>65 生活習慣病の予防<br>66 障害者歯科健診の実施                                                                    | 67 改正精神保健福祉法に対応する行政機関の体制拡充【新】<br>68 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの充実【新】                                                                           |
| 69 周産期医療体制の充実<br>70 重度心身障害者への支援★                                                                                           | 71 自立支援医療の推進                                                                                                                             |
| 72 バリアフリーのまちづくりの推進<br>73 思いやり駐車場制度の拡充【一部新】                                                                                 | 74 学習・文化活動の場の環境整備<br>75 公共交通機関の利便性向上                                                                                                     |
| 76 災害時の避難体制の整備【一部新】<br>77 避難行動要支援者登録制度の充実<br>78 緊急通報システム事業等                                                                | 79 既存建築物耐震改修補助事業の推進<br>80 防犯対策の充実<br>81 障害者向けの交通安全教室の実施                                                                                  |





# 基本目標の達成状況 について

| 評価 | 評価の理由                                                                                                                      |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B  | 民間事業所向け障害平等研修、あいサポートキッズ研修等の開催による障害者の権利擁護の推進、地域生活支援拠点等ネットワーク会議や自立支援協議会各部会の活動による支援体制の充実、障害者週間記念事業におけるアート作品のPR等の障害者施策を実施したため。 |

| 成果指標                                        | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|---------------------------------------------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 1 障害者が感じる、周囲の人の障害者に対する理解度                   | 53.9%    | 62.6%    | 58.0%    | 67.6%    | 70.0%     | 70.0%     |
| 2 障害者が相談支援事業所に満足している割合                      | 61.1%    | 39.1%    | 63.3%    | 61.1%    | 65.6%     | 70.0%     |
| 3 障害者が現在、文化芸術活動に取り組んでいる割合                   | 55.1%    | 36.9%    | 58.9%    | 62.6%    | 66.3%     | 70.0%     |
| 4 障害児の保護者が障害者施策に対して満足している割合                 | 45.1%    | 38.4%    | 51.4%    | 57.6%    | 63.8%     | 70.0%     |
| 5 障害者が、必要時の医療機関への受診、日々の適切な健康管理への支援に満足している割合 | 57.5%    | 53.4%    | 60.6%    | 63.7%    | 66.8%     | 70.0%     |
| 6 障害者にとっての川口市の住みやすさ                         | 42.2%    | 58.5%    | 46.7%    | 59.5%    | 60.0%     | 60.0%     |

## 1 障害者が感じる、周囲の人の障害者に対する理解度

| 評価   | A                                                                                                                                                                                                                                                              | 目標<br>(R7) | 53.9% | 実績 | 62.6% |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|----|-------|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業所向け障害平等研修を開催した。また、ホームページへの掲載、リーフレットの配布を通して、障害者差別解消法に関する普及啓発を図っている。</li> <li>・教員の専門性向上に向けて、関係機関や専門家と連携した研修を実施している。</li> <li>・障害がある人もない人もみんなで共に生きようとする「あいサポートマインド」を持って行動する子どもたちを育てるため、あいサポートキッズ研修を実施している。</li> </ul> |            |       |    |       |

## 2 障害者が相談支援事業所に満足している割合

| 評価   | C                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 目標<br>(R7) | 61.1% | 実績 | 39.1% |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|----|-------|
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターにおいて、障害者や家族等からの相談に応じるとともに、アウトリーチによる積極的な支援により必要な情報の提供及び助言等を行った。</li> <li>・障害者の重度化・高齢化や親なきあとへの備え、現に重度の障害がある人や医療的ケアを必要とする人等の居住支援のための機能を、地域の実情に応じて充実するよう会議を開催し、地域の体制づくりを図った。</li> <li>・緊急時の受け入れ・対応を迅速に図るため川口市地域生活支援拠点等ネットワーク会議において、相談支援事業所と拠点機能を担う事業所が利用登録希望者の情報を共有し、平時からの連携を図った。</li> </ul> |            |       |    |       |

| 3 障害者が現在、文化芸術活動に取り組んでいる割合 |                                                                                                                                                                                    |             |       |    |       |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                        | C                                                                                                                                                                                  | 目標<br>(R 7) | 55.1% | 実績 | 36.9% |
| 取組内容                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者週間記念事業（ハートフェスタ）において、アート作品を展示するブースを設け、障害者アートのPRに努めた。</li> <li>・公民館等において実施する講座に加え、オンラインで視聴できる講座も実施し、障害者も含め誰でもが参加できる多様な講座を実施した。</li> </ul> |             |       |    |       |

| 4 障害児の保護者が障害者施策に対して満足している割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |       |    |       |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                          | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 目標<br>(R 7) | 45.1% | 実績 | 38.4% |
| 取組内容                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康診査では、子どもの発育発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見し、適切な指導を行っている。</li> <li>・児童発達支援センターの中核機能の検証や、市内の障害児通所支援事業所連絡会を開催し、質の向上および事業所間の情報交換の場を設けた。</li> <li>・保育所等職員として必要な障害児に対する知識や理解を高めるとともに、保育者としての資質向上を図る目的で「発達障害の理解と現場での具体的な対応」という内容で障害児専門研修を実施した。</li> <li>・医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう。医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材（医療的ケア児コーディネーター）を配置した。</li> <li>・特別支援教育の推進において、相談担当者の研修を開催し、面談や訪問しての相談、電話相談等様々な形の相談を行うために特別支援教育推進の理解や相談方法のスキルアップに取り組んだ。</li> </ul> |             |       |    |       |

| 5 障害者が、必要時の医療機関への受診、日々の適切な健康管理への支援に満足している割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |             |       |    |       |
|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                                          | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 目標<br>(R 7) | 57.5% | 実績 | 53.4% |
| 取組内容                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉に関する普及啓発を目的として、オンデマンド配信形式で講座を実施した。</li> <li>・川口歯科医師会と連携し、障害者通所施設に訪問し、歯科医師による歯科健康診査、歯科衛生士による歯科保健指導、フッ化物塗布を実施した。</li> <li>・おおむね 15 歳から 35 歳の若年者に対し、精神科医師、公認心理師、精神保健福祉士等の他職種専門チームによる相談支援（こころサポートステーション SODA かわぐち）を実施した。</li> <li>・重度心身障害者医療費に係る電子申請受付項目を拡充した。</li> </ul> |             |       |    |       |

| 6 障害者にとっての川口市の住みやすさ |                                                                                                                                                                                                                                                            |             |       |    |       |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                  | S                                                                                                                                                                                                                                                          | 目標<br>(R 7) | 42.2% | 実績 | 58.5% |
| 取組内容                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者等の住みよいまちづくりを推進するため、埼玉県福祉のまちづくり条例に定める基準に基づき適切に指導を行った。</li> <li>・横断歩道から歩道へ乗り入れする際に段差があり通行しづらかったが、段差解消工事を実施した。</li> <li>・横曽根公民館の改築工事が令和 8 年 2 月に完了し、多目的トイレを各フロアに設置したほか、災害時の情報を文字情報で表示するなど、バリアフリー化を推進した。</li> </ul> |             |       |    |       |

## ～今後の取組と課題～

### ○今後の取組

- ・あいサポーターについて、広報やホームページ、イベント等を活用しながら普及啓発を図る。
- ・手話の出前講座において、企業や団体等に加え、教育、児童関係の団体への普及啓発にも取り組む。
- ・市内の特定相談支援事業所が抱える困難事例に対して、積極的な介入、助言指導を行う。
- ・埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会との協働により、障害のある方向けワークショップを開催し、作品を展示する。
- ・発達障害に関する知識や理解を深め、障害児に対する適切な支援保育を行えるよう、研修内容の充実を図る。

### ○課題

- ・あいサポーター研修、あいサポートキッズ研修を併用して開催していくことは、人的時間的な制約がある。
- ・新たな登録手話通訳者の養成が急務である。
- ・基幹相談支援センターの業務が多岐に渡っており、個々の特定相談支援事業所への支援が行き届かない部分がある。
- ・アート作品展示を行う事業所数を増やす取り組み、継続的な作品展の開催。
- ・障害児通所支援事業所連絡会への参加事業所が少ないことから、連絡会参加のメリットが感じられる仕組みや参加方法などを模索していく。
- ・医療的ケア児コーディネーターのスキル、経験値の拡大及びネットワークを構築し、情報の交換や共有の場を提起に提供していく必要がある。
- ・重度心身障害者医療費に係る電子申請可能な手続きの周知が十分ではない。
- ・バリアフリーに関して、昨今の物価等高騰に伴い工事費も高額となっている。



# 基本目標達成のための施策の 達成状況について





## 施 策 一 覧

基本目標を達成するための施策を掲載しています。

|        |                                                                                                                                       |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本目標 1 | <p>施策(1) 障害者の権利擁護の推進</p> <p>施策(2) 啓発活動・福祉教育の推進</p> <p>施策(3) 地域における支えあい活動の促進</p> <p>施策(4) 障害者への合理的配慮の推進</p> <p>施策(5) 障害児への合理的配慮の推進</p> |
| 基本目標 2 | <p>施策(6) 相談体制の充実</p> <p>施策(7) 日常生活を支える福祉サービスの充実</p> <p>施策(8) 地域生活への移行促進</p> <p>施策(9) 生活支援のための施策・制度の推進</p>                             |
| 基本目標 3 | <p>施策(10) 雇用・就労の促進</p> <p>施策(11) スポーツ・レクリエーション、生涯学習の充実</p> <p>施策(12) 障害者の外出支援と移動手段の確保</p>                                             |
| 基本目標 4 | <p>施策(13) 早期発見・早期療育</p> <p>施策(14) 発達相談支援</p> <p>施策(15) 障害児保育と療育体制の充実</p> <p>施策(16) 特別支援教育の推進</p>                                      |
| 基本目標 5 | <p>施策(17) 保健活動の充実</p> <p>施策(18) 医療体制の充実と経済的負担の軽減</p>                                                                                  |
| 基本目標 6 | <p>施策(19) バリアフリーのまちづくりの推進</p> <p>施策(20) 防災・防犯対策等の充実</p>                                                                               |

## 基本目標 1

## 障害者の権利擁護の充実と共助の取組の強化

### 施策 1 障害者の権利擁護の推進

#### 取組

- 1 障害者の権利擁護体制の充実
- 2 障害者虐待防止センター事業
- 3 改正障害者差別解消法への対応

| 評価指標                                    | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|-----------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 1 成年後見センターにおける障害者の新規相談件数                | 80 件     | 71 件     | 85 件     | 8 5 件      | 9 0 件    | 9 5 件     | 100 件     |
| 2 障害者虐待防止センターの運営                        | 継続       | 実施       | →        | 実施         | 継続       | →         | →         |
| 3 民間企業への普及啓発のための研修やホームページ、リーフレットを活用した周知 | 継続       | 実施       | →        | 実施         | 継続       | →         | →         |

| 1 成年後見センターにおける障害者の新規相談件数 |                                                |             |      |    |      |
|--------------------------|------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                       | B                                              | 目標<br>(R 7) | 80 件 | 実績 | 71 件 |
| 取組内容                     | 川口市成年後見センターを設置し、各関係機関と連携し、制度周知や普及、相談支援などを実施した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                    | 成年後見制度の見直しを踏まえた制度周知。                           |             |      |    |      |
| 課題                       | 制度の見直しに伴い、制度利用終了者の地域生活支援の検討が必要。                |             |      |    |      |

| 2 障害者虐待防止センターの運営 |                                                        |             |    |    |    |
|------------------|--------------------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価               | A                                                      | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 実施 |
| 取組内容             | 川口市障害者虐待防止センターを設置し、虐待の防止、早期発見、被虐待者の保護や自立援助、養護者支援を実施した。 |             |    |    |    |
| 今後の取組            | 引き続き、各取り組みを実施する。                                       |             |    |    |    |
| 課題               | 制度周知について工夫が必要。                                         |             |    |    |    |

| 3 民間企業への普及啓発のための研修やホームページ、リーフレットを活用した周知 |                                                                      |             |    |    |    |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価                                      | A                                                                    | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 実施 |
| 取組内容                                    | 民間事業所向け障害平等研修を蕨市、戸田市との共催により開催した。またホームページへの掲載、リーフレットの配布を通して、普及啓発を図った。 |             |    |    |    |
| 今後の取組                                   | 引き続き、各取り組みを実施する。                                                     |             |    |    |    |
| 課題                                      | 制度周知について工夫が必要。                                                       |             |    |    |    |

## 施策 2 啓発活動・福祉教育の推進

### 取組

- 4 市民への障害に関する正しい理解の促進
- 5 福祉教育の充実
- 6 手話言語普及啓発事業

| 評価指標                                      | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|-------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 4 あいサポーター研修の受講者数（累計）                      | 2,191 人  | 1,521 人  | 2,691 人  | 2,691 人    | 3,191 人  | 3,691 人   | 4,191 人   |
| 5 特別支援教育に係る研修開催数                          | 年 30 回   | 年 43 回   | 年 30 回   | 年 30 回     | 年 30 回   | 年 30 回    | 年 30 回    |
| 6 学校訪問における特別支援学級担任への指導回数                  | 年 26 回   | 年 27 回   | 年 26 回   | 年 25 回     | 年 25 回   | 年 25 回    | 年 25 回    |
| 7 研究委嘱校募集に関わる市立学校（園）への広報活動数               | 年2回      | 年 2 回    | 年 2 回    | 年 2 回      | 年 2 回    | 年 2 回     | 年 2 回     |
| 8 市立小中学校特別支援教育の全体計画への指導・助言割合              | 100%     | 100%     | 100%     | 100%       | 100%     | 100%      | 100%      |
| 9 小中学校のボランティア・福祉教育の全体指導計画・年間指導計画への指導・助言割合 | 100%     | 100%     | 100%     | 100%       | 100%     | 100%      | 100%      |
| 10 教職員研修会における福祉活動への参加周知割合                 | 100%     | 83%      | 100%     | 90%        | 100%     | 100%      | 100%      |
| 11 出前講座の参加者数（累計）                          | 850人     | 741 人    | 1,150 人  | 1,150 人    | 1,350 人  | 1,550 人   | 1,750 人   |

| 4 あいサポーター研修の受講者数（累計） |                                                                |             |         |    |         |
|----------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 評価                   | C                                                              | 目標<br>(R 7) | 2,191 人 | 実績 | 1,521 人 |
| 取組内容                 | ・団体や事業所等からの依頼により研修を開催した。                                       |             |         |    |         |
| 今後の取組                | ・チラシ等の印刷物を引き続き団体、事業所等へ配布する。<br>・広報やホームページ、イベント等を活用しながら普及啓発を図る。 |             |         |    |         |
| 課題                   | ・あいサポートキッズ研修と併用して開催していくことは人的、時間的な制約がある。                        |             |         |    |         |

| 5 特別支援教育に係る研修開催数 |                                         |             |        |    |        |
|------------------|-----------------------------------------|-------------|--------|----|--------|
| 評価               | S                                       | 目標<br>(R 7) | 年 30 回 | 実績 | 年 43 回 |
| 取組内容             | 教員の専門性向上に向けて、関係機関や専門家と連携した様々な研修を実施していく。 |             |        |    |        |
| 今後の取組            | 令和 8 年度より管理職を対象とした研修を実施していく。            |             |        |    |        |
| 課題               | 学校のニーズや実態に合った研修内容を計画・実施していくこと。          |             |        |    |        |

| 6 学校訪問における特別支援学級担任への指導回数 |                                                                |             |        |    |        |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|--------|----|--------|
| 評価                       | A                                                              | 目標<br>(R 7) | 年 25 回 | 実績 | 年 27 回 |
| 取組内容                     | 学校訪問は、学力向上訪問と交互に行っているため、令和 7 年度は対象校が 27 校であり、27 校全てで学校訪問を実施した。 |             |        |    |        |
| 今後の取組                    | 引き続き、学校訪問において、特別支援学級の担任に指導を続けていく。                              |             |        |    |        |
| 課題                       | 学校訪問が学力向上訪問と交互に行っているため、毎年すべての担任を指導することができないこと。                 |             |        |    |        |

| 7 研究委嘱校募集に関わる市立学校（園）への広報活動数 |                                                                                                  |             |       |    |       |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                          | A                                                                                                | 目標<br>(R 7) | 年 2 回 | 実績 | 年 2 回 |
| 取組内容                        | 市立学校長会議や文書送付を通して、研究委嘱校の募集と、今年度の委嘱研究発表会の予定の周知（教職員への参加の呼びかけ）を行った。                                  |             |       |    |       |
| 今後の取組                       | 引き続き、研究委嘱校の募集、委嘱研究発表会の予定の周知（教職員への参加の呼びかけ）を行っていく。                                                 |             |       |    |       |
| 課題                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究委嘱の研究内容に偏りが見られる。</li> <li>・中学校の研究委嘱の募集が少ない。</li> </ul> |             |       |    |       |

| 8 市立小中学校特別支援教育の全体計画への指導・助言割合 |                                                             |             |      |    |      |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                           | A                                                           | 目標<br>(R 7) | 100% | 実績 | 100% |
| 取組内容                         | 全市立小中学校より提出された特別支援教育の全体計画を確認し、指導・助言を行い、必要に応じて訂正するように指導している。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                        | 引き続き、全市立小中学校の特別支援教育の全体計画を確認、指導・助言していく。                      |             |      |    |      |
| 課題                           | 全市立小中学校が学校の実態に合った適切な全体計画を作成できるようにすること。                      |             |      |    |      |

| 9 小中学校のボランティア・福祉教育の全体指導計画・年間指導計画への指導・助言割合 |                                                                                                                                  |             |      |    |      |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                                        | A                                                                                                                                | 目標<br>(R 7) | 100% | 実績 | 100% |
| 取組内容                                      | 児童生徒に福祉体験学習の機会を提供するなど、教育課程にボランティア活動や福祉教育を位置づけ、教育活動全体を通して計画的に福祉の心の育成に努める。<br>また、引き続き全体計画及び年間指導計画の作成状況を調査し、教員への指導、働きかけの強化を行う。      |             |      |    |      |
| 今後の取組                                     | 社会福祉協議会や都市計画課等の行うボランティア・福祉教育活動について情報連絡会議や学校訪問等を活用して小・中学校に事業紹介をし、各学校のボランティア・福祉の教育活動の推進に努める。また、他校の取組等を紹介し、自校の年間指導計画の参考にしてもらうよう努める。 |             |      |    |      |
| 課題                                        | 全小・中学校が全体計画を作成し、年間指導計画に位置付けている。各学校によって地域との連携活用や学年の発達段階に合った取組の内容に差がある。                                                            |             |      |    |      |

| 10 教職員研修会における福祉活動への参加周知割合 |                                                                                                                                                  |             |      |    |     |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|-----|
| 評価                        | B                                                                                                                                                | 目標<br>(R 7) | 100% | 実績 | 83% |
| 取組内容                      | 社会福祉協議会と連携し、情報連絡会議等を活用して市が行っている事業を紹介するとともに、年間指導計画のフィードバックでも教育活動での福祉活動への参加を促進していく。                                                                |             |      |    |     |
| 今後の取組                     | 社会福祉協議会や市民パートナーズステーション等との連携したボランティア・福祉教育担当教員の情報連絡会議だけでなく、学校訪問等の機会を活用し、地域の各種福祉ボランティア事業の紹介を行い、働きかけていく。また、引き続き年間指導計画のフィードバックでも福祉活動への取組、参加の促進を行っていく。 |             |      |    |     |
| 課題                        | ボランティア・福祉教育担当教員を対象とした情報共有の場は、社会福祉協議会主催の情報連絡会議（年2回希望参加）に限られており、全担当教員に一斉に情報に伝える教職員研修の場が無い場合、周知の方法を工夫していく必要がある。                                     |             |      |    |     |

| 11 出前講座の参加者数（累計） |                                                                                                                        |             |       |    |       |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価               | C                                                                                                                      | 目標<br>(R 7) | 850 人 | 実績 | 741 人 |
| 取組内容             | 手話言語の普及と手話の理解における啓発促進。                                                                                                 |             |       |    |       |
| 今後の取組            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ等の印刷物を引き続き団体、事業所等へ配布する。</li> <li>・広報やホームページ、イベント等を活用しながら普及啓発を図る。</li> </ul> |             |       |    |       |
| 課題               | 企業や団体等に加えて、教育、児童関係の団体への普及啓発にも取り組む。                                                                                     |             |       |    |       |

### 施策 3 地域における支えあい活動の促進

#### 取組

- 7 障害者団体の活動への補助
- 8 障害者支援を行うボランティア活動の充実
- 9 地域生活支援拠点等の充実
- 10 重層的支援体制整備事業の本格実施

| 評価指標                                                                                                                      | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 12 障害者団体に対する安定的な事業運営のための支援                                                                                                | 継続       | 5 件      | →        | 5 件        | 継続       | →         | →         |
| 13 住民参加型福祉サービス事業における新規登録協力員数                                                                                              | 25 人     | 22 人     | 28 人     | 28 人       | 30 人     | 30 人      | 30 人      |
| 14 青少年ボランティア協力施設・団体数                                                                                                      | 98 件     | 80 件     | 98 件     | 84 件       | 98 件     | 98 件      | 98 件      |
| 15 かわぐち市民パートナーステーション・かわぐちボランティアセンター登録団体数                                                                                  | 405件     | 364 件    | 410 件    | 395 件      | 410 件    | 410 件     | 410 件     |
| 16 地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数                                                                                                  | 12回      | 12 回     | 12 回     | 12 回       | 12 回     | 12 回      | 12 回      |
| 17 「孤独感・孤立感」の地域福祉に関するアンケート調査において<br>①「自分には人との付き合いがないと感じる」<br>②「自分は取り残されていると感じる」<br>③「自分は他の人たちから孤立していると感じる」における「常にある」の回答割合 | －        | －        | 前回調査より減少 | －          | －        | －         | －※        |
| 18 アウトリーチ支援員の配置                                                                                                           | 4人       | 3 人      | 5 人      | －          | －        | －         | －※        |
| 19 包括的相談支援事業所における他分野相談受付数                                                                                                 | 68件      | 74 件     | 136 件    | －          | －        | －         | －※        |
| 20 世代・属性を問わない交流の場の数                                                                                                       | 72カ所     | 62 カ所    | 92 カ所    | －          | －        | －         | －※        |

※川口市地域共生社会推進計画（令和9年度～令和11年度）において成果指標を設定するため未定



| 12 障害者団体に対する安定的な事業運営のための支援 |                                               |             |    |    |     |
|----------------------------|-----------------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価                         | A                                             | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 5 件 |
| 取組内容                       | 障害者団体が行う福祉事業に要する経費を助成し、円滑かつ安定的な事業運営ができるようにした。 |             |    |    |     |
| 今後の取組                      | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                          |             |    |    |     |
| 課題                         | 助成額について、令和 7 年度は一律に減額しており、予算確保という課題がある。       |             |    |    |     |

| 13 住民参加型福祉サービス事業における新規登録協力員数 |                                                                                                     |             |      |    |      |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                           | B                                                                                                   | 目標<br>(R 7) | 25 人 | 実績 | 22 人 |
| 取組内容                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力員入門講座の開催</li> <li>・広報誌での掲載・各事業でのチラシ配布など周知を行った。</li> </ul> |             |      |    |      |
| 今後の取組                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力員入門講座の開催</li> <li>・ホームページやXの活用・各事業でのチラシ配布</li> </ul>      |             |      |    |      |
| 課題                           | 高齢になっても就業を続ける人が増加しており、ボランティアの担い手の確保が難しくなっている。                                                       |             |      |    |      |

| 14 青少年ボランティア協力施設・団体数 |                                                                                                                                                                                  |             |      |    |      |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                   | C                                                                                                                                                                                | 目標<br>(R 7) | 98 件 | 実績 | 80 件 |
| 取組内容                 | 川口市と川口市社会福祉協議会が協働し、次代を担う青少年のボランティアへの関心と活動を高めることを目的に、青少年ボランティア育成事業を実施。小学生を対象とした「こどもフリーさろん」「夏休みこどもボランティアさろん」中学生以上 25 歳位までを対象とした「青少年ボランティアスクール」、小学生以上 25 歳位までを対象とした「通年ボランティア」を開催した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                | 引き続き、青少年のボランティアへの関心と活動を高めることを目的に、事業を継続する。                                                                                                                                        |             |      |    |      |
| 課題                   | 新規の協力施設・団体に声掛けをしているが、一方で協力を取りやめる施設・団体もあり、全体としては伸び悩んでいる。                                                                                                                          |             |      |    |      |

| 15 かわぐち市民パートナーステーション・かわぐちボランティアセンター登録団体数 |                                                                                           |             |       |    |       |
|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                                       | B                                                                                         | 目標<br>(R 7) | 405 件 | 実績 | 364 件 |
| 取組内容                                     | ボランティア活動をする人たちの場の提供やかわぐちボランティアセンターとの事業協力など、市民パートナーステーション（キュポ・ラ内）の活動の充実を図った。               |             |       |    |       |
| 今後の取組                                    | 引き続き、ボランティア活動の充実を図るため、場の提供や事業を継続する。                                                       |             |       |    |       |
| 課題                                       | かわぐち市民パートナーステーションの登録団体数について、コロナ禍による活動休止を契機に団体数が減少したが、コロナ禍が落ち着いた現在も、依然として登録数が回復せず、減少傾向にある。 |             |       |    |       |

| 16 地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数 |                                                                                                 |             |      |    |      |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                       | A                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 12 回 | 実績 | 12 回 |
| 取組内容                     | 障害者の重度化・高齢化や親なきあとへの備え、現に重度の障害がある人や医療的ケアを必要とする人等の居住支援のための機能を、地域の実情に応じて充実するよう会議を開催し、地域の体制づくりを図った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                    | 空床情報の共有範囲及びリアルタイムでの情報提供について検討。                                                                  |             |      |    |      |
| 課題                       | 相談支援事業所や施設の拠点に対する理解促進。                                                                          |             |      |    |      |

| 17「孤独感・孤立感」の地域福祉に関するアンケート調査において①「自分には人との付き合いがないと感じる」②「自分は取り残されていると感じる」③「自分は他の人たちから孤立していると感じる」における「常にある」の回答割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |             |   |    |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---|----|---|
| 評価                                                                                                           | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 目標<br>(R 7) | — | 実績 | — |
| 取組内容                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代属性を問わない交流の場を新たに設置する団体に食費用の一部を助成する川口市みんなの居場所設置支援助成金事業を実施した。</li> <li>・ウエルシア薬局株式会社と連携協定を締結し、移動販売による地域コミュニティの創出による居場所づくりを実施した。</li> <li>・市内の見守り体制の強化のため、つながりサポーター養成講座を実施した。</li> <li>・孤独・孤立対策や地域づくりの取り組みから生まれた地域活動に対し、活動への助言や広報などの後方支援を行った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                |             |   |    |   |
| 今後の取組                                                                                                        | <p>令和 8 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川口市つながりに関する基礎調査」の分析の結果を地域包括支援センター等関係機関と共有し、地域での効果的な相談支援や地域づくりに活用してもらうとともに、各機関と市で地域に必要な社会資源等を検討する協議の場を設ける。</li> <li>・地域活動の意欲があるにもかかわらず、場所がない等により、立ち上げに至らない団体等に対する支援策を検討し実施する。</li> <li>・一般市民向けのつながりサポーター養成講座を継続する。</li> <li>・移動販売車の停留場所を精査し、地域コミュニティ創出の機会を増やすため、運行スケジュールの改訂を行う。</li> </ul> <p>令和 9 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内包括化推進員を、保健・福祉分野に限らず、多岐にわたる分野の推進員に拡大していく。</li> <li>・包括的相談支援事業所連絡会及び包括的相談支援事業所への訪問を継続する。</li> </ul> |             |   |    |   |
| 課題                                                                                                           | 包括的な支援体制の整備及び充実のため、各分野の支援関係機関が対応できる範囲の拡大や連携体制の構築及び標準化が課題である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |             |   |    |   |

| 18 アウトリーチ支援員の配置 |                                                                                                 |             |     |    |     |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価              | B                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 4 人 | 実績 | 3 人 |
| 取組内容            | 「複雑化・複合化した支援ニーズがあり、特定の分野が単独で支援することが困難な者・世帯」や「支援が届いていない者・世帯」に対して信頼関係の構築のため、前年度に引き続き支援員を 3 人配置した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組           | アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を継続する。                                                                        |             |     |    |     |
| 課題              | アウトリーチ支援員の増員。                                                                                   |             |     |    |     |

| 19 包括的相談支援事業所における他分野相談受付数 |                                                                                                                                                                                                                        |             |      |    |      |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                        | A                                                                                                                                                                                                                      | 目標<br>(R 7) | 68 件 | 実績 | 74 件 |
| 取組内容                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域包括支援センター等 3 5 事業所の職員を対象に包括的相談支援事業所連絡会を開催し、研修や事例共有、意見交換を実施した。</li> <li>・多機関協働事業が包括的相談支援事業所へ訪問し、複雑化・複合化した支援ニーズを有する事例を紹介するとともに複雑化・複合化した課題を有する事案を事業所から引き上げて支援を行った。</li> </ul> |             |      |    |      |
| 今後の取組                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的相談支援事業所連絡会を継続する。</li> <li>・包括的相談支援事業所へ訪問を継続する。</li> </ul>                                                                                                                   |             |      |    |      |
| 課題                        | 世代、属性、相談内容を問わずに相談の受け止める包括的相談支援の徹底。                                                                                                                                                                                     |             |      |    |      |

| 20 世代・属性を問わない交流の場の数 |                                                                                                                                                                 |             |       |    |       |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                  | B                                                                                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 72 カ所 | 実績 | 62 カ所 |
| 取組内容                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川口市みんなの居場所設置支援助成金事業を利用し 8 か所設置した。</li> <li>・地域づくりトークセッションをきっかけに 1 か所設置された。</li> <li>・その他の取組をきっかけに 7 か所設置された。</li> </ul> |             |       |    |       |
| 今後の取組               | 地域活動の意欲があるにもかかわらず、場所がない等により、立ち上げに至らない団体等に対する支援策を検討し、実施する。                                                                                                       |             |       |    |       |
| 課題                  | 場所の提供が可能な社会福祉法人等、協力団体の確保。                                                                                                                                       |             |       |    |       |

## 施策 4 障害者への合理的配慮の推進

### 取組

11 障害者の情報取得と意思疎通の支援

12 選挙における障害者の投票環境の整備

| 評価指標                          | 目標<br>R7       | 実績<br>R7       | 目標<br>R8       | 実績見込<br>R8     | 目標<br>R9       | 目標<br>R10      | 目標<br>R11      |
|-------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 21 障害者ガイドブックの内容点検・改訂          | 1 回            | 4 回            | 1 回            | 2 回            | 1 回            | 1 回            | 1 回            |
| 22 広報紙の発行部数<br>(①点字訳②録音版)     | ①200部<br>②700部 | ①196部<br>②626部 | ①200部<br>②700部 | ①200部<br>②700部 | ①200部<br>②700部 | ①200部<br>②700部 | ①200部<br>②700部 |
| 23 登録手話通訳者数                   | 22 人           | 19 人           | 24 人           | 24 人           | 26 人           | 28 人           | 30 人           |
| 24 手話通訳者養成講座の開催回数             | 136回           | 136 回          | 136 回          | 136 回          | 136 回          | 136 回          | 136 回          |
| 25 点字・録音図書の新規製作数              | 22点            | 25 点           | 22 点           | 22 点           | 22 点           | 22 点           | 22 点           |
| 26 バリアフリー化した投票所数<br>(①当日②期日前) | ①95カ所<br>②8 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 | ①97カ所<br>②9 カ所 |

| 21 障害者ガイドブックの内容点検・改訂 |                                        |             |     |    |     |
|----------------------|----------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                   | A                                      | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 4 回 |
| 取組内容                 | 全頁の内容点検・改訂を 1 回、制度改正等による改訂を 3 回実施した。   |             |     |    |     |
| 今後の取組                | 引き続き、全頁の内容点検・改訂を 1 回と、制度改正等による改訂を実施する。 |             |     |    |     |
| 課題                   | 制度改正等に対応し更新もれがないように、随時確認が必要である。        |             |     |    |     |

| 22 広報紙の発行部数（①点字訳②録音版） |                                                        |             |                  |    |                  |
|-----------------------|--------------------------------------------------------|-------------|------------------|----|------------------|
| 評価                    | B                                                      | 目標<br>(R 7) | ①200 部<br>②700 部 | 実績 | ①196 部<br>②626 部 |
| 取組内容                  | 「広報かわぐち」「社協だより」を点字広報紙、録音テープ及びデジタル録音図書として毎月発行、希望者に配布した。 |             |                  |    |                  |
| 今後の取組                 | 市等からの情報提供の一助として、希望者に配布を継続する。                           |             |                  |    |                  |
| 課題                    | 利用希望者の減少、高齢化により、発行部数や配布先が年々減少傾向にある。                    |             |                  |    |                  |

| 23 登録手話通訳者数 |                                                    |             |      |    |      |
|-------------|----------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価          | C                                                  | 目標<br>(R 7) | 22 人 | 実績 | 19 人 |
| 取組内容        | 聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者の家庭生活並びに社会生活における意思疎通を円滑に図る一助とする。 |             |      |    |      |
| 今後の取組       | 登録手話通訳者を養成するための講座受講者数を増やす。                         |             |      |    |      |
| 課題          | 現在の登録手話通訳者も高齢化しており、新たな登録手話通訳者の養成が急務である。            |             |      |    |      |

| 24 手話通訳者養成講座の開催回数 |                                                                   |             |       |    |       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                | B                                                                 | 目標<br>(R 7) | 136 回 | 実績 | 136 回 |
| 取組内容              | 登録手話通訳者を養成するために必要なプログラムを実施した。                                     |             |       |    |       |
| 今後の取組             | 引き続き、登録手話通訳者を養成するためのプログラムを継続する。                                   |             |       |    |       |
| 課題                | 国や県が推奨するプログラムはオンライン講座も含まれており、会場設備を充実させる必要があるとともに、通年での複数会場の確保を要する。 |             |       |    |       |

| 25 点字・録音図書の新規製作数 |                                             |             |      |    |      |
|------------------|---------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価               | B                                           | 目標<br>(R 7) | 22 点 | 実績 | 25 点 |
| 取組内容             | 利用者の求めに応じ、点字図書・録音図書を製作し、提供した。               |             |      |    |      |
| 今後の取組            | 利用者の要望を聞き取り、点訳・音訳ボランティアと協力して点字図書・録音図書を製作する。 |             |      |    |      |
| 課題               | より多くの利用者に点字図書・録音図書を届けられるよう、速やかに製作する。        |             |      |    |      |

| 26 バリアフリー化した投票所数（①当日②期日前） |                                                                                                        |             |                  |    |                  |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------|----|------------------|
| 評価                        | A                                                                                                      | 目標<br>(R 7) | ①95 力所<br>② 8 力所 | 実績 | ①97 力所<br>② 9 力所 |
| 取組内容                      | 郵便投票、代理投票、点字投票については、ホームページ等を利用し周知を図っている。当日投票所及び期日前投票所ではスロープがないところには、スロープを貸出するなど、障害のある方でも投票ができるようにしている。 |             |                  |    |                  |
| 今後の取組                     | 投票所の変更や新規設置の際に、バリアフリー化を意識した環境づくりを行う。                                                                   |             |                  |    |                  |
| 課題                        | 特になし。                                                                                                  |             |                  |    |                  |

## 施策 5 障害児への合理的配慮の推進

| 評価指標                                 | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|--------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 27 子ども版あいサポーター研修（あいサポートキッズ）の受講者数（累計） | 450 人    | 514 人    | 750 人    | 815 人      | 880 人    | 940 人     | 1,050 人   |

### 取組 13 川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例に基づく取組

| 27 子ども版あいサポーター研修数（あいサポートキッズ）の受講者数（累計） |                                                                            |             |       |    |       |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                                    | A                                                                          | 目標<br>(R 7) | 450 人 | 実績 | 514 人 |
| 取組内容                                  | 障害がある人もない人も、みんなで共に生きようとする「あいサポートマインド」を持って行動する子どもたちを育てるため、あいサポートキッズ研修を実施した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組                                 | 毎年実施を希望する学校も出てきており、更なる協力校や団体への周知啓発に努める。                                    |             |       |    |       |
| 課題                                    | 依頼が増加してきた場合に、時間や財源、マンパワーの確保が必要となってくる。                                      |             |       |    |       |

## 基本目標 2

## 障害者の暮らしを支える基盤の充実

### 施策 6 相談体制の充実

#### 取組

- 14 障害に関する総合的な相談体制の充実
- 15 精神保健福祉分野における相談体制の充実
- 16 精神障害者ピアサポート事業
- 17 難病患者支援の充実
- 18 福祉サービスに対する苦情相談

| 評価指標                                           | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|------------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 28 基幹相談支援センターにおける個別事例の検討回数                     | 510 回    | 392 回    | 530 回    | 530 回      | 550 回    | 570 回     | 590 回     |
| 29 若年者早期相談・支援事業（こころサポートステーション SODA かわぐち）の延支援回数 | 1,800 回  | 2,803 回  | 1,800 回  | 1,800 回    | 1,800 回  | 1,800 回   | 1,800 回   |
| 30 精神障害者ピアサポート講座参加者数（定員 35 名）                  | 35 人     | 26 人     | 35 人     | 35 人       | 35 人     | 35 人      | 35 人      |
| 31 医療講演会の開催回数                                  | 1回       | 1 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 32 支援者研修会の開催回数                                 | 1回       | 1 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 33 苦情相談の解決に向けた助言・調査                            | 継続       | 0        | →        | →          | 継続       | →         | →         |



| 28 基幹相談支援センターにおける個別事例の検討回数 |                                                                                                     |             |       |    |       |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                         | C                                                                                                   | 目標<br>(R 7) | 510 回 | 実績 | 392 回 |
| 取組内容                       | 障害者が自立した生活を送れるよう、障害者の生活や障害福祉サービスの利用などについて、障害者や家族等からの相談に応じるとともに、アウトリーチによる積極的な支援により必要な情報の提供及び助言等を行った。 |             |       |    |       |
| 今後の取組                      | 市内の特定相談支援事業所が抱える困難事例に対して、積極的な介入、助言指導を行う。                                                            |             |       |    |       |
| 課題                         | 基幹相談支援センターの業務が多岐に渡っており、個々の特定相談支援事業所への支援が行き届かない部分がある。                                                |             |       |    |       |

| 29 若年者早期相談・支援事業（こころサポートステーション SODA かわぐち）の延支援回数 |                                                                              |             |         |    |         |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 評価                                             | S                                                                            | 目標<br>(R 7) | 1,800 回 | 実績 | 2,803 回 |
| 取組内容                                           | おおむね 15 歳から 35 歳の若年者に対し、精神科医師、公認心理師、精神保健福祉士等の多職種専門チームによる相談支援を実施した。           |             |         |    |         |
| 今後の取組                                          | 上記取組を継続し、精神科医や臨床心理士、精神保健福祉士等の多職種によるチームアプローチにより若年者が抱える多様な課題に対し、包括的な支援を実施していく。 |             |         |    |         |
| 課題                                             | 他機関連携及び市民等のメンタルヘルスリテラシーを高めるための活動の検討。                                         |             |         |    |         |

| 30 精神障害者ピアサポート講座参加者数（定員 35 名） |                                                 |             |      |    |      |
|-------------------------------|-------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                            | C                                               | 目標<br>(R 7) | 35 人 | 実績 | 26 人 |
| 取組内容                          | 市内で活動する精神障害者当事者が参加する講座を開催し、ピアカウンセリングを行える環境を整えた。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                         | 講座修了者に次年度以降の運営に協力してもらうよう働きかけ、普及啓発につなげる。         |             |      |    |      |
| 課題                            | 講座修了者が県主催のピアサポート養成研修への受講に至らない。                  |             |      |    |      |

| 31 医療講演会の開催回数 |                                                                    |             |     |    |     |
|---------------|--------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価            | A                                                                  | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容          | 指定難病医療給付受給者やその家族、支援者を対象に、「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症」について専門医・理学療法士による講演会を実施した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組         | 上記取組内容を継続実施していく。                                                   |             |     |    |     |
| 課題            | 難病患者や家族のニーズに応えた医療相談の検討。                                            |             |     |    |     |

| 32 支援者研修会の開催回数 |                                                   |             |     |    |     |
|----------------|---------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価             | A                                                 | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容           | 訪問看護ステーションなどの難病患者支援者を対象に、「災害対策」について講師を招き研修会を実施した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組          | 上記取組内容を継続実施していく。                                  |             |     |    |     |
| 課題             | 難病患者支援における地域連携の強化。                                |             |     |    |     |

| 33 苦情相談の解決に向けた助言・調査 |                                                                         |             |    |    |     |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価                  | B                                                                       | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 0 件 |
| 取組内容                | 障害者やその家族から福祉サービスの苦情について相談を受け、解決に向けて助言や調査を行う制度であるが、第三者委員を通しての苦情報告は0件である。 |             |    |    |     |
| 今後の取組               | 引き続き、福祉サービスの利用者からのサービス改善についての要望や苦情に対して、適切な対応ができるようにする。                  |             |    |    |     |
| 課題                  | 要綱等の見直しや条例化等を含め検討する必要がある。                                               |             |    |    |     |

## 施策 7

## 日常生活を支える福祉サービスの充実

### 取組

- 19 障害福祉サービス基盤の充実
- 20 日常生活用具等の給付
- 21 生活支援事業
- 22 全身性障害者介助人派遣事業
- 23 ふれあい収集事業
- 24 障害者短期入所施設の充実
- 25 共生型サービスの導入と介護事業所における障害者支援に係る人材の育成
- 26 介助者の人材育成
- 27 地域生活支援拠点等の充実〈再掲〉

| 評価指標                             | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|----------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 34 地域での暮らしを支えるための居宅における福祉サービスの充実 | 継続       | 継続       | →        | →          | 継続       | →         | →         |
| 35 補装具の購入費又は修理費の支給による負担軽減        | 継続       | 687 件    | →        | 687 件      | 継続       | →         | →         |
| 36 日常生活用具の給付又は貸与による負担軽減          | 継続       | 14,406 件 | →        | 16,566 件   | 継続       | →         | →         |
| 37 紙おむつの支給による負担軽減(延件数)           | 継続       | 1,100 件  | →        | 1,152 件    | 継続       | →         | →         |
| 38 在宅の全身性障害者に対する介助人派遣(延人数)       | 継続       | 12 名     | →        | 12 名       | 継続       | →         | →         |
| 39 広報紙「PRESS 530」への掲載回数          | 1回       | 1 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 40 短期入所施設の定員数                    | 58人      | 79 人     | 60 人     | 97 人       | 66 人     | 66 人      | 66 人      |
| 41 共生型サービスを提供できる市内事業所数           | 2件       | 2 件      | 3 件      | 2 件        | 3 件      | 4 件       | 5 件       |
| 42 障害者居宅サービス技術援助事業の研修参加者数        | 300人     | 348 人    | 300 人    | 300 人      | 300 人    | 300 人     | 300 人     |
| 43 川口市自立支援協議会暮らしの場連絡会の開催数        | 3回       | 3 回      | 3 回      | 3 回        | 3 回      | 3 回       | 3 回       |
| 44 地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数〈再掲〉     | 12回      | 12 回     | 12 回     | 12 回       | 12 回     | 12 回      | 12 回      |

|                         |     |     |     |     |     |     |     |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 45 地域生活支援拠点等ネットワークの登録者数 | 24人 | 37人 | 24人 | 40人 | 40人 | 40人 | 24人 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

| 34 地域での暮らしを支えるための居宅における福祉サービスの充実 |                                       |            |    |    |    |
|----------------------------------|---------------------------------------|------------|----|----|----|
| 評価                               | B                                     | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 継続 |
| 取組内容                             | 支援ニーズを把握し、関係機関や団体との連絡を図り、支援体制の整備を進めた。 |            |    |    |    |
| 今後の取組                            | 丁寧な説明、理解を求めながら、市民や関係団体との協働に努める。       |            |    |    |    |
| 課題                               | 限られた財政の中、民間や関係機関との連携を模索していく必要がある。     |            |    |    |    |

| 35 補装具の購入費又は修理費の支給による負担軽減 |                                                                     |            |    |    |      |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------|----|----|------|
| 評価                        | B                                                                   | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 687件 |
| 取組内容                      | 身体の失われた部位、障害のある部分を補うために用いられる補装具（義肢や装具、車いす等）の購入費又は修理費を支給し、負担の軽減を図った。 |            |    |    |      |
| 今後の取組                     | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                |            |    |    |      |
| 課題                        | 制度や日程上の都合もあり、判定に時間を要している。                                           |            |    |    |      |

| 36 日常生活用具の給付又は貸与による負担軽減 |                                                                                                                         |            |    |    |         |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|---------|
| 評価                      | A                                                                                                                       | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 14,406件 |
| 取組内容                    | 日常生活上の便宜を図るため、在宅中の重度障害者に対し、介護・訓練支援用具（特殊寝台、特殊マット、体位変換器等）、排せつ管理支援用具（ストマ装具等）等を給付又は貸与する。事業を周知し、障害の特性に合わせた適切な日常生活用具の給付等に努めた。 |            |    |    |         |
| 今後の取組                   | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                                                    |            |    |    |         |
| 課題                      | 物価上昇に伴い、基準額増の要望があるが、予算確保という課題がある。                                                                                       |            |    |    |         |

| 37 紙おむつの支給による負担軽減（延件数） |                                               |             |    |    |         |
|------------------------|-----------------------------------------------|-------------|----|----|---------|
| 評価                     | A                                             | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 1,100 件 |
| 取組内容                   | 寝たきりで常時紙おむつを必要とする障害者に対し、紙おむつを支給し経済的負担の軽減に努めた。 |             |    |    |         |
| 今後の取組                  | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                          |             |    |    |         |
| 課題                     | 予算確保という課題がある。                                 |             |    |    |         |

| 38 在宅の全身性障害者に対する介助人派遣（延人数） |                                                                                       |             |    |    |      |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|------|
| 評価                         | A                                                                                     | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 12 名 |
| 取組内容                       | 在宅の全身性障害者に対し、市に登録した介助人を派遣し身体介護（入浴、排せつ、食事の介助等）・家事援助（食事の調理、洗濯、掃除等）・見守り・外出時の移動の介助などを行った。 |             |    |    |      |
| 今後の取組                      | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                  |             |    |    |      |
| 課題                         | 介助人の把握・管理に課題がある                                                                       |             |    |    |      |

| 39 広報紙「PRESS530」への掲載回数 |                            |             |     |    |     |
|------------------------|----------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                     | A                          | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容                   | 今年度も広報誌「PRESS530」への掲載を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                  | 引き続き広報誌「PRESS530」への掲載を行う。  |             |     |    |     |
| 課題                     | 特になし。                      |             |     |    |     |

| 40 短期入所施設の定員数 |                                                                                                                  |             |      |    |      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価            | S                                                                                                                | 目標<br>(R 7) | 58 人 | 実績 | 79 人 |
| 取組内容          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努めた。</li> <li>・柳崎しらゆりの家（定員 19 人）を開所した。</li> </ul> |             |      |    |      |
| 今後の取組         | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努める。                                                                                      |             |      |    |      |
| 課題            | 定員数においては、目標値を上回っており量的に確保されつつあるが、重度障害者が利用できる施設の量的確保については今後の課題である。                                                 |             |      |    |      |

| 41 共生型サービスを提供できる市内事業所数 |                                                                                                                                        |             |     |    |     |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                     | A                                                                                                                                      | 目標<br>(R 7) | 2 件 | 実績 | 2 件 |
| 取組内容                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者からの相談対応等により事業所数の確保に努めた。</li> <li>・社会福祉センターの地域活動センターを共生型生活介護に移行した。（令和 8 年 4 月～）</li> </ul> |             |     |    |     |
| 今後の取組                  | 民間事業者からの相談対応等により事業所数の確保に努める。                                                                                                           |             |     |    |     |
| 課題                     | 介護事業所職員の障害特性についての理解の場や、他事業所の職員との人材交流の場の確保などが必要である。                                                                                     |             |     |    |     |

| 42 障害者居宅サービス技術援助事業の研修参加者数 |                                                                               |             |       |    |       |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                        | A                                                                             | 目標<br>(R 7) | 300 人 | 実績 | 348 人 |
| 取組内容                      | 障害者に適切な支援ができるよう、ホームヘルパー向け研修会を参加しやすい時間帯に開催するほか、アーカイブ配信を行い、高度なサービス知識やスキル向上を図った。 |             |       |    |       |
| 今後の取組                     | アーカイブ配信を継続し、受講しやすい体制を維持する。                                                    |             |       |    |       |
| 課題                        | 強度行動障害や医療的ケア等の重度障害者に対するスキルの向上。                                                |             |       |    |       |

| 43 川口市自立支援協議会暮らしの場連絡会の開催数 |                                                  |             |     |    |     |
|---------------------------|--------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                        | B                                                | 目標<br>(R 7) | 3 回 | 実績 | 3 回 |
| 取組内容                      | グループホームや施設入所職員、短期入所施設職員等を対象に制度理解、事例検討、情報共有等を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                     | 取り組みの継続と主旨の周知啓発、関係職員のスキルの向上に努める。                 |             |     |    |     |
| 課題                        | 連絡会開催の意義や目的の共有、参加事業者、職員の理解。                      |             |     |    |     |

| 44 地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数〈再掲〉 |                                                                                                 |             |      |    |      |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                           | A                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 12 回 | 実績 | 12 回 |
| 取組内容                         | 障害者の重度化・高齢化や親なきあとへの備え、現に重度の障害がある人や医療的ケアを必要とする人等の居住支援のための機能を、地域の実情に応じて充実するよう会議を開催し、地域の体制づくりを図った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                        | 空床情報の共有範囲及び内容の正確性の担保について検討。                                                                     |             |      |    |      |
| 課題                           | 相談支援事業所や施設の拠点に対する理解促進。                                                                          |             |      |    |      |

| 45 地域生活支援拠点等ネットワークの登録者数 |                                                                                             |             |      |    |      |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                      | S                                                                                           | 目標<br>(R 7) | 24 人 | 実績 | 37 人 |
| 取組内容                    | 緊急時の受け入れ・対応を迅速に図るため、川口市地域生活支援拠点等ネットワーク会議において、相談支援事業所と拠点機能を担う事業所が利用登録希望者の情報を共有し、平時からの連携を図った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                   | 引き続き、登録者数を増やす。                                                                              |             |      |    |      |
| 課題                      | 登録後のメリットを感じにくい。                                                                             |             |      |    |      |

## 施策 8

## 地域生活への移行促進

### 取組

28 障害者の住まいの確保に係る支援

29 障害福祉サービス基盤の充実〈再掲〉

30 日中サービス支援型グループホームの拡充

| 評価指標                               | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 46 市営住宅への入居募集                      | 年 3 回    | 年 3 回    | 年 3 回    | 年 3 回      | 年 3 回    | 年 3 回     | 年 3 回     |
| 47 市営住宅のバリアフリー化                    | 0 棟      | 0 棟      | 1 棟      | 1 棟        | 0 棟      | 0 棟       | 0 棟       |
| 48 住宅確保要配慮者に対する、セーフティネット住宅の登録による支援 | 継続       | 3,515 戸  | →        | 3,550 件    | 継続       | →         | →         |
| 49 住宅を必要としている障害者に対する、入居に必要な調整等の支援  | 継続       | 実施       | →        | 実施         | 継続       | →         | →         |
| 50 無料建築相談の相談件数                     | 40件      | 37 件     | 40 件     | 40 件       | 40 件     | 40 件      | 40 件      |
| 51 重度身体障害者（児）居宅改善整備費助成事業の助成件数      | 1件       | 0 件      | 1 件      | 1 件        | 1 件      | 1 件       | 1 件       |
| 52 特定相談支援事業所数                      | 36件      | 42 件     | 37 件     | 45 件       | 40 件     | 40 件      | 40 件      |
| 53 入所施設の待機者数                       | 114人     | 100 人    | 109 人    | 100 人      | 98 人     | 96 人      | 94 人      |
| 54 日中サービス支援型グループホームの定員数            | 88人      | 98 人     | 98 人     | 98 人       | 108 人    | 118 人     | 128 人     |



| 46 市営住宅への入居募集 |                                     |             |       |    |       |
|---------------|-------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価            | A                                   | 目標<br>(R 7) | 年 3 回 | 実績 | 年 3 回 |
| 取組内容          | 市営住宅への入居者を募集し、障害者世帯については抽選時の優遇を行った。 |             |       |    |       |
| 今後の取組         | 引き続き、障害者世帯への抽選時の優遇を行う。              |             |       |    |       |
| 課題            | 応募数が高倍率の場合は、優遇世帯でも入居できないことがある。      |             |       |    |       |

| 47 市営住宅のバリアフリー化 |                                       |             |     |    |     |
|-----------------|---------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価              | A                                     | 目標<br>(R 7) | 0 棟 | 実績 | 0 棟 |
| 取組内容            | 川口市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の建替えを計画的に推進している。 |             |     |    |     |
| 今後の取組           | 引き続き、川口市営住宅長寿命化計画に基づき、建替えを計画的に行う。     |             |     |    |     |
| 課題              | 建替えには多額の費用がかかるため、計画の推進に時間を要している。      |             |     |    |     |

| 48 住宅確保要配慮者に対する、セーフティネット住宅の登録による支援 |                                                                                   |             |    |    |         |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|---------|
| 評価                                 | A                                                                                 | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 3,515 戸 |
| 取組内容                               | 「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」に基づき、賃貸人が住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度（セーフティネット住宅）を行った。 |             |    |    |         |
| 今後の取組                              | 引き続き、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録を行う。                                                  |             |    |    |         |
| 課題                                 | 登録している物件の大半が入居済みの物件であり、空室が少なく、新しく入居先を探している賃貸人の住居に限りがある。                           |             |    |    |         |

| 49 住宅を必要としている障害者に対する、入居に必要な調整等の支援 |                                                                |             |    |    |    |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価                                | A                                                              | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 実施 |
| 取組内容                              | 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための協議の場において、住宅関連機関の情報提供をもとに現状の把握を行った。 |             |    |    |    |
| 今後の取組                             | 現状把握を踏まえ、実行できる施策の検討。                                           |             |    |    |    |
| 課題                                | 実際の貸主となる大家との連携が難しい。                                            |             |    |    |    |

| 50 無料建築相談の相談件数 |                                                           |             |      |    |      |
|----------------|-----------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価             | B                                                         | 目標<br>(R 7) | 40 件 | 実績 | 37 件 |
| 取組内容           | 建築士の協力により、住宅のリフォームや耐震など、安全かつ快適に暮らせる住宅に改修するための無料建築相談を開催した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組          | 引き続き、安全かつ快適に暮らせる住宅に改修するための無料建築相談を開催する。                    |             |      |    |      |
| 課題             | 1 回の無料建築相談ごとに相談枠を設けており、1 回の相談件数に限りがある。                    |             |      |    |      |

| 51 重度身体障害者（児）居宅改善整備費助成事業の助成件数 |                                                                                              |             |     |    |     |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                            | -                                                                                            | 目標<br>(R 7) | 1 件 | 実績 | 0 件 |
| 取組内容                          | 重度の身体障害者が在宅で生活し続けられるよう、段差の解消など住宅の改造工事にかかる費用の一部を助成する（介護保険法又は障害者総合支援法の対象外のもの）。※令和 7 年度は申請 0 件。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                         | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                         |             |     |    |     |
| 課題                            | 予算確保という課題がある。                                                                                |             |     |    |     |

| 52 特定相談支援事業所数 |                                                            |             |      |    |      |
|---------------|------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価            | A                                                          | 目標<br>(R 7) | 36 件 | 実績 | 42 件 |
| 取組内容          | 民間事業者からの相談対応等により事業所数の確保に努めた。                               |             |      |    |      |
| 今後の取組         | 民間事業者からの相談対応等により事業所数の確保に努める。                               |             |      |    |      |
| 課題            | 今後も利用者の増加が見込まれるため、引き続き事業所の確保に努めるとともに、事業所の質の向上に努めることが必要である。 |             |      |    |      |

| 53 入所施設の待機者数 |                                     |             |       |    |       |
|--------------|-------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価           | A                                   | 目標<br>(R 7) | 114 件 | 実績 | 100 件 |
| 取組内容         | 入所施設待機者がグループホームの利用も検討できるよう情報提供を図った。 |             |       |    |       |
| 今後の取組        | 引き続き、取り組みを実施する。                     |             |       |    |       |
| 課題           | 入所希望者と施設とのマッチング。                    |             |       |    |       |

| 54 日中サービス支援型グループホームの定員数 |                                 |             |      |    |      |
|-------------------------|---------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                      | A                               | 目標<br>(R 7) | 88 人 | 実績 | 98 人 |
| 取組内容                    | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努めた。     |             |      |    |      |
| 今後の取組                   | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努める。     |             |      |    |      |
| 課題                      | 定員数が増加傾向にある中、事業所の支援の質の向上が課題である。 |             |      |    |      |

## 施策 9

## 生活支援のための施策・制度の推進

### 取組

- 31 障害者福祉手当等の給付
- 32 福祉手当（市独自）の給付
- 33 福祉資金の貸付

| 評価指標                                                   | 目標<br>R7 | 実績<br>R7  | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|--------------------------------------------------------|----------|-----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 55 20 歳以上で日常生活に常時特別な介護を要する在宅の重度障害者に対する、特別障害者手当の支給（延人数） | 継続       | 3,956 人   | →        | →          | 継続       | →         | →         |
| 56 20 歳未満の在宅重度心身障害児に対する、障害児福祉手当の支給（延人数）                | 継続       | 2,511 人   | →        | →          | 継続       | →         | →         |
| 57 特別障害者手当及び障害児福祉手当に該当しない重度の障害者に対する、福祉手当（市独自）の支給（延人数）  | 継続       | 116,617 人 | →        | →          | 継続       | →         | →         |
| 58 福祉資金貸付件数                                            | 継続       | 6 件       | →        | →          | 継続       | →         | →         |

| 55 20 歳以上で日常生活に常時特別な介護を要する在宅の重度障害者に対する、特別障害者手当の支給（延人数） |                                          |             |    |    |         |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------------|----|----|---------|
| 評価                                                     | A                                        | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 3,956 人 |
| 取組内容                                                   | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、対象者に特別障害者手当を支給した。 |             |    |    |         |
| 今後の取組                                                  | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、対象者に特別障害者手当を支給する。 |             |    |    |         |
| 課題                                                     | 特になし。                                    |             |    |    |         |

| 56 20 歳未満の在宅重度心身障害児に対する、障害児福祉手当の支給（延人数） |                                          |             |    |    |         |
|-----------------------------------------|------------------------------------------|-------------|----|----|---------|
| 評価                                      | A                                        | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 2,511 人 |
| 取組内容                                    | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、対象者に障害児福祉手当を支給した。 |             |    |    |         |
| 今後の取組                                   | 特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、対象者に障害児福祉手当を支給する。 |             |    |    |         |
| 課題                                      | 特になし。                                    |             |    |    |         |

| 57 特別障害者手当及び障害児福祉手当に該当しない重度の障害者に対する、福祉手当（市独自）の支給（延人数） |                                        |             |    |    |           |
|-------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------|----|----|-----------|
| 評価                                                    | A                                      | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 116,617 人 |
| 取組内容                                                  | 川口市障害者福祉手当支給条例に基づき、対象者に福祉手当(市独自)を支給した。 |             |    |    |           |
| 今後の取組                                                 | 引き続き、予算の範囲内で支給する。                      |             |    |    |           |
| 課題                                                    | 特になし。                                  |             |    |    |           |

| 58 福祉資金貸付件数 |                                                                  |             |    |    |     |
|-------------|------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価          | A                                                                | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 6 件 |
| 取組内容        | 直近の臨時的な出費により、一時的に生活が窮迫した世帯に対して資金を貸し付ける。                          |             |    |    |     |
| 今後の取組       | 引き続き、予算の範囲内において実施する。                                             |             |    |    |     |
| 課題          | 慢性的な生活困窮に起因する貸付希望など、本制度の適用対象外となる相談事案が多く、他団体の貸付制度や支援制度を案内することがある。 |             |    |    |     |

## 基本目標 3

## 社会参加の充実

### 施策 10 雇用・就労の促進

#### 取組

- 34 一般就労の促進
- 35 障害福祉サービス基盤の充実〈再掲〉
- 36 就労移行支援事業所の拡充
- 37 障害者就労施設等における工賃引上げに向けた取組
- 38 障害者就労施設等への物品等の発注促進

| 評価指標                            | 目標<br>R7       | 実績<br>R7           | 目標<br>R8       | 実績見込<br>R8         | 目標<br>R9       | 目標<br>R10      | 目標<br>R11      |
|---------------------------------|----------------|--------------------|----------------|--------------------|----------------|----------------|----------------|
| 59 法定雇用率引き上げの広報紙への掲載            | 引き上げの<br>都度掲載  | 掲載なし               | 継続             | 掲載予定               | 継続             | →              | →              |
| 60 就労移行支援事業の利用人数                | 226 人          | 449 人              | 247 人          | 320 人              | 322 人          | 322 人          | 322 人          |
| 61 就労定着支援事業所の利用人数               | 80 人           | 189 人              | 88 人           | 121 人              | 119 人          | 119 人          | 119 人          |
| 62 川口市障害者就労支援センター新規登録者数         | 100人           | 78 人               | 100 人          | 100 人              | 100 人          | 100 人          | 100 人          |
| 63 市職員の障害者雇用率                   | 3.0%           | 2.38%              | 3.1%           | 2.44%              | 3.2%           | 3.3%           | 3.4%           |
| 64 就労継続支援事業所の定員数（①A 型②B 型）      | ①285人<br>②890人 | ①262 人<br>②1,133 人 | ①320人<br>②920人 | ①275 人<br>②1,150 人 | ①345人<br>②945人 | ①370人<br>②970人 | ①395人<br>②995人 |
| 65 就労移行支援事業所の定員                 | 240人           | 234 人              | 250 人          | 240 人              | 260 人          | 270 人          | 280 人          |
| 66工賃引上げに向けた取組                   | 実施             | 実施                 | 継続             | 実施                 | 継続             | →              | →              |
| 67障害者週間記念事業（ハートフェスタ）でのアート作品展示回数 | 1回             | 1 回                | 1 回            | 1 回                | 1 回            | 1 回            | 1 回            |
| 68アート作品展の開催数                    | 1回             | 0 回                | 1回             | 1 回                | 1 回            | 1 回            | 1 回            |
| 69障害者就労支援施設等からの物品の調達件数          | 31件            | 19 件               | 32 件           | 20 件               | 25 件           | 30 件           | 35 件           |

| 59 法定雇用率引き上げの広報紙への掲載 |                                                                       |             |    |    |     |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価                   | —                                                                     | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 未実施 |
| 取組内容                 | R7 年度は法定雇用率引き上げの実施がなかったため未実施。                                         |             |    |    |     |
| 今後の取組                | 引上げの都度、埼玉労働局及び川口公共職業安定所と連携し、障害者の法定雇用率の引き上げを始めとする関係法令の周知を、事業主に対して行います。 |             |    |    |     |
| 課題                   | 特になし。                                                                 |             |    |    |     |

| 60 就労移行支援事業の利用人数 |                                                                                                |             |       |    |       |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価               | S                                                                                              | 目標<br>(R 7) | 226 人 | 実績 | 449 人 |
| 取組内容             | 川口公共職業安定所で実施しているトライアル雇用の周知に努めるとともに、障害者就労支援センター及び就労移行支援事業所における関わりや、就職した障害者に対するアフターフォローの実施を促進した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組            | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                           |             |       |    |       |
| 課題               | 予算確保という課題がある。                                                                                  |             |       |    |       |

| 61 就労定着支援事業所の利用人数 |                                                   |             |      |    |       |
|-------------------|---------------------------------------------------|-------------|------|----|-------|
| 評価                | S                                                 | 目標<br>(R 7) | 80 人 | 実績 | 189 人 |
| 取組内容              | 就労を希望する障害者が就労できるよう、必要な訓練や就労先の開拓、就労後の職場への定着支援を行った。 |             |      |    |       |
| 今後の取組             | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                              |             |      |    |       |
| 課題                | 予算確保という課題がある。                                     |             |      |    |       |

| 62 川口市障害者就労支援センター新規登録者数 |                                           |             |       |    |      |
|-------------------------|-------------------------------------------|-------------|-------|----|------|
| 評価                      | C                                         | 目標<br>(R 7) | 100 人 | 実績 | 78 人 |
| 取組内容                    | 障害者の一般企業への就労を促進するため、川口市障害者就労支援センターの周知を図った |             |       |    |      |
| 今後の取組                   | ハローワーク等との連携を進める                           |             |       |    |      |
| 課題                      | 新規登録者数の減少                                 |             |       |    |      |

| 63 市職員の障害者雇用率 |                                                                              |             |      |    |       |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|-------|
| 評価            | C                                                                            | 目標<br>(R 7) | 3.0% | 実績 | 2.38% |
| 取組内容          | 障害者雇用促進法の趣旨に基づき、支援機関と連携しながら、正規職員および会計年度任用職員に障害者枠を設けて採用を進めた。                  |             |      |    |       |
| 今後の取組         | 障害者雇用促進法の趣旨に基づき、障害者雇用率を遵守しながら、市職員としての障害者採用を進める。                              |             |      |    |       |
| 課題            | 令和 8 年 7 月 1 日の法定雇用率の引き上げに伴い、障害者の雇用者数を増加させる必要があり、定年等の離職率を見越した上で雇用者の確保が課題である。 |             |      |    |       |

| 64 就労継続支援事業所の定員数（①A 型②B 型） |                                                                           |             |                  |    |                    |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------|----|--------------------|
| 評価                         | A                                                                         | 目標<br>(R 7) | ①285 人<br>②890 人 | 実績 | ①262 人<br>②1,133 人 |
| 取組内容                       | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努めた。                                               |             |                  |    |                    |
| 今後の取組                      | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努める。                                               |             |                  |    |                    |
| 課題                         | B 型は目標値に対し 120%超の定員が確保されているが、A 型は目標値の 90%程度の定員数となっており、A 型事業所の確保が課題となっている。 |             |                  |    |                    |



| 65 就労移行支援事業所の定員 |                                 |             |       |    |       |
|-----------------|---------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価              | B                               | 目標<br>(R 7) | 240 人 | 実績 | 234 人 |
| 取組内容            | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努めた。     |             |       |    |       |
| 今後の取組           | 民間事業者からの相談対応等により定員数の確保に努める。     |             |       |    |       |
| 課題              | 実績値が目標値を下回っており、今後の定員数の確保が課題である。 |             |       |    |       |

| 66 工賃引上げに向けた取組 |                                           |             |    |    |    |
|----------------|-------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価             | A                                         | 目標<br>(R 7) | 実施 | 実績 | 実施 |
| 取組内容           | 就労継続支援 B 型連絡会において、工賃向上に向けての課題や好事例の共有を行った。 |             |    |    |    |
| 今後の取組          | 引き続き、情報交換を行い、製品の販売場所の確保など具体的な取組内容を検討する。   |             |    |    |    |
| 課題             | 各事業所の運営状況に左右される面が強く、市内事業所での一致した対応が検討しにくい。 |             |    |    |    |

| 67 障害者週間記念事業（ハートフェスタ）でのアート作品展示回数 |                                                           |             |     |    |     |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                               | A                                                         | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容                             | 障害者週間記念事業（ハートフェスタ）において、アート作品を展示するブースを設け、障害者アートの P R に努めた。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                            | 引き続き、取り組みを実施する。                                           |             |     |    |     |
| 課題                               | 作品展示を行う事業所数を増やす取り組み。                                      |             |     |    |     |

| 68 アート作品展の開催数 |                                                           |             |     |    |     |
|---------------|-----------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価            | D                                                         | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 0 回 |
| 取組内容          | アート作品展の開催に向けた検討を行ったが開催に至らなかった。                            |             |     |    |     |
| 今後の取組         | 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会との協働により、障害のある方向けワークショップを開催し、作品を展示する。 |             |     |    |     |
| 課題            | 継続的な作品展の開催。                                               |             |     |    |     |

| 69 障害者就労支援施設等からの物品の調達件数 |                                                                               |             |      |    |      |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                      | C                                                                             | 目標<br>(R 7) | 31 件 | 実績 | 19 件 |
| 取組内容                    | 障害者優先調達法に基づき、障害者就労施設等に印刷業務や物品の調達を依頼した。                                        |             |      |    |      |
| 今後の取組                   | ポスター・パンフレット等の印刷物を引き続き、障害者就労施設等に依頼する。障害者就労施設等が受注できる役務や物品のリストを作成し、ホームページで周知をする。 |             |      |    |      |
| 課題                      | 調達数について、対象物品が限られていることが課題である。                                                  |             |      |    |      |

## 施策 11 スポーツ・レクリエーション、生涯学習の充実

### 取組

- 39 障害者スポーツの振興
- 40 障害者の文化活動への支援
- 41 障害者アートの促進

| 評価指標                                             | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|--------------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 70 障害者スポーツ大会<br>彩の国ふれあいピック<br>参加者数               | 15 人     | 10 人     | 20 人     | 20 人       | 25 人     | 30 人      | 35 人      |
| 71 文化祭の開催                                        | 継続       | 34 回     | →        | 継続         | 継続       | →         | →         |
| 72 講座の開催                                         | 継続       | 318 回    | →        | 継続         | 継続       | →         | →         |
| 73 障害者週間記念事<br>業（ハートフェスタ）<br>でのアート作品展示回<br>数〈再掲〉 | 1回       | 1 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 74 アート作品展の開<br>催数〈再掲〉                            | 1回       | 0 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |

| 70 障害者スポーツ大会彩の国ふれあいピック参加者数 |                                                            |             |      |    |      |
|----------------------------|------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                         | C                                                          | 目標<br>(R 7) | 15 人 | 実績 | 10 人 |
| 取組内容                       | 移動用のバスを手配し、熊谷スポーツ文化公園で開催された障害者スポーツ大会彩の国ふれあいピック（秋季大会）に参加した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                      | 引き続き、取り組みを実施する。                                            |             |      |    |      |
| 課題                         | 参加者数を増やす取り組み。                                              |             |      |    |      |

| 71 文化祭の開催 |                                                                  |             |    |    |      |
|-----------|------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|------|
| 評価        | A                                                                | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 34 回 |
| 取組内容      | 公民館等の施設において障害者に学習活動の場を提供し、作品発表の機会として文化祭を実施することにより、障害者の文化活動を支援した。 |             |    |    |      |
| 今後の取組     | 引き続き公民館等の施設において、障害者を含めた多くの方々に学習活動の場を提供し、障害者の自己実現や交流の機会を支援する。     |             |    |    |      |
| 課題        | 特になし。                                                            |             |    |    |      |

| 72 講座の開催 |                                                                   |             |    |    |       |
|----------|-------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-------|
| 評価       | A                                                                 | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 318 回 |
| 取組内容     | 公民館等において実施する講座に加え、オンラインで視聴できる講座も実施し、障害者を含め誰でもが参加できる多様な講座を実施した。    |             |    |    |       |
| 今後の取組    | 障害者を含めたより多くの市民が参加しやすいよう、講座内容の充実を図るほか、オンライン講座についても、内容の充実と情報発信に努める。 |             |    |    |       |
| 課題       | 特になし。                                                             |             |    |    |       |

| 73 障害者週間記念事業（ハートフェスタ）でのアート作品展示回数〈再掲〉 |                                                        |             |     |    |     |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                                   | A                                                      | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容                                 | 障害者週間記念事業（ハートフェスタ）において、アート作品を展示するブースを設け、障害者アートのPRに努めた。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                                | 引き続き、取り組みを実施する。                                        |             |     |    |     |
| 課題                                   | 作品展示を行う事業所数を増やす取り組み。                                   |             |     |    |     |

| 74 アート作品展の開催数〈再掲〉 |                                                           |             |     |    |     |
|-------------------|-----------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                | D                                                         | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 0 回 |
| 取組内容              | アート作品展の開催に向けた検討を行ったが開催に至らなかった。                            |             |     |    |     |
| 今後の取組             | 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会との協働により、障害のある方向けワークショップを開催し、作品を展示する。 |             |     |    |     |
| 課題                | 継続的な作品展の開催。                                               |             |     |    |     |

## 施策 12

## 障害者の外出支援と移動手段の確保

### 取組

- 42 補助犬の利用に関する理解の促進
- 43 公共料金の割引等の周知
- 44 移動支援事業
- 45 自動車運転免許取得費等の助成
- 46 福祉タクシー・福祉ガソリン利用料金の助成
- 47 障害者手帳のデジタル化
- 48 手話通訳者養成事業
- 49 失語症者向け意思疎通支援者の養成

| 評価指標                          | 目標<br>R7 | 実績<br>R7       | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8   | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|-------------------------------|----------|----------------|----------|--------------|----------|-----------|-----------|
| 75 ホームページへの掲載・チラシの配布          | 継続       | 継続             | →        | →            | 継続       | →         | →         |
| 76 パンフレットの内容点検及び必要に応じた改訂      | 1 回      | 1 回            | 1 回      | 1 回          | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 77 単独での移動が困難な障害者に対する、外出のための支援 | 継続       | 46,128.7<br>時間 | →        | 55,009<br>時間 | 継続       | →         | →         |
| 78 自動車運転免許取得費の助成              | 継続       | 8 件            | →        | 8 件          | 継続       | →         | →         |
| 79 自動車改造費の助成                  | 継続       | 4 件            | →        | 10 件         | 継続       | →         | →         |
| 80 タクシー券利用率                   | 42.0%    | 34.3%          | 44.0%    | 35.3%        | 39.3%    | 40.3%     | 46.5%     |
| 81 ガソリン券利用率                   | 83.5%    | 80.5%          | 84.0%    | 81.5%        | 82.5%    | 83.5%     | 85.0%     |
| 82 障害者手帳のデジタル化につながる周知啓発       | 継続       | 継続             | →        | 継続           | 継続       | →         | →         |
| 83 登録手話通訳者数                   | 22 人     | 19 人           | 24 人     | 24 人         | 26 人     | 28 人      | 30 人      |
| 84 失語症者向け意思疎通支援者数             | 2 人      | 2 人            | 2 人      | 2 人          | 2 人      | 2 人       | 2 人       |

| 75 ホームページへの掲載・チラシの配布 |                                                   |             |    |    |    |
|----------------------|---------------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価                   | A                                                 | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 随時 |
| 取組内容                 | 定期的にホームページにて情報を提供、制度内容等を掲載し、チラシやポスター、ステッカー等を配布した。 |             |    |    |    |
| 今後の取組                | 継続的に随時、情報提供していく。                                  |             |    |    |    |
| 課題                   | 事案や内容や膨大で多岐にわたるため、毎回確認と精査が必要。                     |             |    |    |    |

| 76 パンフレットの内容点検及び必要に応じた改訂 |                                                              |             |     |    |     |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                       | B                                                            | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容                     | 医療的ケアが必要なお子さんのためのガイドブックや、あんしん生活サポートブックなど年度ごとに見直し、改訂版を作成している。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                    | 継続的に適切な情報が提供できるよう取り組んでいく。                                    |             |     |    |     |
| 課題                       | 他課にまたがる内容や照会も多いことから、早期に対応することができるよう協力を継続的に依頼する必要がある。         |             |     |    |     |

| 77 単独での移動が困難な障害者に対する、外出のための支援 |                                                  |             |    |    |             |
|-------------------------------|--------------------------------------------------|-------------|----|----|-------------|
| 評価                            | B                                                | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 46,128.7 時間 |
| 取組内容                          | 単独での移動が困難な障害者に外出のための支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を促進した。 |             |    |    |             |
| 今後の取組                         | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                             |             |    |    |             |
| 課題                            | 予算確保という課題がある。                                    |             |    |    |             |

| 78 自動車運転免許取得費の助成 |                                         |             |    |    |     |
|------------------|-----------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価               | A                                       | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 8 件 |
| 取組内容             | 障害者の就労や社会活動への参加を促進するため、自動車運転免許取得費を助成した。 |             |    |    |     |
| 今後の取組            | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                    |             |    |    |     |
| 課題               | 需要が増えているため、予算確保という課題がある。                |             |    |    |     |

| 79 自動車改造費の助成 |                                     |             |    |    |     |
|--------------|-------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価           | A                                   | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 4 件 |
| 取組内容         | 障害者の就労や社会活動への参加を促進するため、自動車改造費を助成した。 |             |    |    |     |
| 今後の取組        | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                |             |    |    |     |
| 課題           | 予算確保という課題がある。                       |             |    |    |     |

| 80 タクシー券利用率 |                                                                |             |       |    |       |
|-------------|----------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価          | B                                                              | 目標<br>(R 7) | 42.0% | 実績 | 34.3% |
| 取組内容        | 川口市重度心身障害者福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱に基づき、在宅の重度心身障害者に対して福祉タクシー利用券を交付した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組       | 引き続き、予算の範囲内で助成する。                                              |             |       |    |       |
| 課題          | タクシー利用料扶助費の決算額が近年増加傾向にあることを踏まえ、引き続き利用率の向上を目指していく。              |             |       |    |       |



| 81 ガソリン券利用率 |                                                                |             |       |    |       |
|-------------|----------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価          | B                                                              | 目標<br>(R 7) | 83.5% | 実績 | 80.5% |
| 取組内容        | 川口市重度心身障害者福祉ガソリン利用料金助成事業実施要綱に基づき、在宅の重度心身障害者に対して福祉ガソリン利用券を交付した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組       | 引き続き、予算の範囲内で助成する。                                              |             |       |    |       |
| 課題          | ガソリン利用料扶助費の決算額が近年増加傾向にあることを踏まえ、引き続き利用率の向上を目指していく。              |             |       |    |       |

| 82 障害者手帳のデジタル化につながる周知啓発 |                                                    |             |    |    |    |
|-------------------------|----------------------------------------------------|-------------|----|----|----|
| 評価                      | A                                                  | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 継続 |
| 取組内容                    | 障害者手帳アプリの提示により、市内公共施設使用料金の割引が受けられることを、ホームページで周知した。 |             |    |    |    |
| 今後の取組                   | 引き続き、ホームページやポスターで周知する。                             |             |    |    |    |
| 課題                      | 特になし。                                              |             |    |    |    |

| 83 登録手話通訳者数 |                                                    |             |      |    |      |
|-------------|----------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価          | C                                                  | 目標<br>(R 7) | 22 人 | 実績 | 19 人 |
| 取組内容        | 聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者の家庭生活並びに社会生活における意思疎通を円滑に図る一助とする。 |             |      |    |      |
| 今後の取組       | 登録手話通訳者を養成するための講座受講者数を増やす。                         |             |      |    |      |
| 課題          | 現在の登録手話通訳者も高齢化しており、新たな登録手話通訳者の養成が急務である。            |             |      |    |      |

| 84 失語症者向け意思疎通支援者数 |                                                                  |             |     |    |     |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                | B                                                                | 目標<br>(R 7) | 2 人 | 実績 | 2 人 |
| 取組内容              | 埼玉県やさいたま市と協定を締結し、失語症への理解や知識を習得する研修会や実習を通じて、失語症者向け意思疎通支援者の養成を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組             | 広報やホームページ等を活用し、研修会への参加を啓発する。                                     |             |     |    |     |
| 課題                | 障害特性、研修内容ともに浸透しておらず、受講者の増加につながっていない。                             |             |     |    |     |

## 基本目標 4

## 障害児とその家庭への支援の充実

### 施策 13 早期発見・早期療育

#### 取組 50 乳幼児健診等を活用した早期発見

| 評価指標                             | 目標<br>R7   | 実績<br>R7   | 目標<br>R8   | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9   | 目標<br>R10  | 目標<br>R11  |
|----------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 85 乳幼児健診受診率                      | 96.6%      | 94.3%      | 96.6%      | 96.6%      | 96.6%      | 96.6%      | 96.6%      |
| 86 相談支援に従事する職員を対象とした研修及び事例検討会の開催 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 | (全体)<br>6回 |
| 87 乳幼児健康診査未受診者の全数把握              | 100%       | 100%       | 100%       | 100%       | 100%       | 100%       | 100%       |

| 85 乳幼児健診受診率 |                                                                                          |             |       |    |       |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価          | B                                                                                        | 目標<br>(R 7) | 96.6% | 実績 | 94.3% |
| 取組内容        | 乳幼児健康診査では、子どもの発育発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見し、適切な指導を行っている。また、むし歯の予防、早期発見、治療により幼児の歯科保健の向上を図っている。  |             |       |    |       |
| 今後の取組       | 受診率の低い外国人に対する周知や健診問診票・通知文の外国語版作成等の対応を強化するとともに、受診勧奨通知や幼稚園・保育所等に受診勧奨ポスターの掲示を依頼し、受診率向上を目指す。 |             |       |    |       |
| 課題          | 乳幼児健診受診率の実績が目標値に達していないため、引き続き周知等を強化して、受診率向上を目指す。                                         |             |       |    |       |

| 86 相談支援に従事する職員を対象とした研修及び事例検討会の開催 |                                                                                                           |             |          |    |          |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------|----|----------|
| 評価                               | A                                                                                                         | 目標<br>(R 7) | (全体) 6 回 | 実績 | (全体) 6 回 |
| 取組内容                             | 産婦・新生児訪問の実施をする地区担当保健師及び委託助産師、子育て相談課が事例検討会を行い、対応した困難事例等について検討し、今後の支援に活かした。また、小児科専門医による乳幼児期の発育発達に関する研修を行った。 |             |          |    |          |
| 今後の取組                            | 訪問指導員の技術向上のため、事例検討会および研修を継続しスキルアップを図る。                                                                    |             |          |    |          |
| 課題                               | 訪問指導員の技術向上を図るため、地域の実情に応じた研修内容を考案していくことが課題である。                                                             |             |          |    |          |

| 87 乳幼児健康診査未受診者の全数把握 |                                                                 |             |      |    |      |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                  | A                                                               | 目標<br>(R 7) | 100% | 実績 | 100% |
| 取組内容                | 各乳幼児健診の未受診者に対し、アンケートを送付した。返信がなかった児に対しては、家庭訪問等で状況を把握し、必要時支援を行った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組               | 各乳幼児健診の未受診者の全数把握に努める。                                           |             |      |    |      |
| 課題                  | 継続して全数把握をしていくことが課題である。                                          |             |      |    |      |

## 施策 14 発達相談支援

### 取組

- 51 発達に係る相談体制の充実  
52 発達障害児支援に係る人材育成

| 評価指標                   | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 88 親子教室の実施回数           | 216 回    | 203 回    | 216 回    | 199 回      | 199 回    | 199 回     | 216 回     |
| 89 巡回支援事業の訪問回数         | 110 回    | 89 回     | 110 回    | 82 回       | 82 回     | 82 回      | 110 回     |
| 90 小学校 1 年生訪問学校数       | 52 校     | 52 校     | 52 校     | 52 校       | 52 校     | 52 校      | 52 校      |
| 91 川口市自立支援協議会子ども部会開催回数 | 3 回      | 3 回      | 3 回      | 3 回        | 3 回      | 3 回       | 3 回       |

| 88 親子教室の実施回数 |                                                            |             |       |    |       |
|--------------|------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価           | B                                                          | 目標<br>(R 7) | 216 回 | 実績 | 203 回 |
| 取組内容         | 子どもへの関わり方を知り、発達状況を理解することを目的に、保護者と児童に対し、集団で親子の遊びや体験の場を提供した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組        | 引き続き親子教室を開催することにより、保護者の子育ての不安が軽減できるよう実施していく。               |             |       |    |       |
| 課題           | 多様化する保護者のニーズに対応した実施会場、実施期間（回数）等の検討。                        |             |       |    |       |

| 89 巡回支援事業の訪問回数 |                                                                            |             |       |    |      |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|------|
| 評価             | B                                                                          | 目標<br>(R 7) | 110 回 | 実績 | 89 回 |
| 取組内容           | 年 2 回以上、保育所・幼稚園・認定こども園を訪問し、保育士等に対して発達が気になる児童及びその保護者への支援について、必要な助言等の支援を行った。 |             |       |    |      |
| 今後の取組          | 引き続き、各施設を訪問することにより、子どもへのよりよい支援の検討を実施していく。                                  |             |       |    |      |
| 課題             | 保育所、幼稚園、認定こども園への事業の周知。<br>多様化する保育現場の実情に合わせた、事業内容等の検討。                      |             |       |    |      |

| 90 小学校 1 年生訪問学校数 |                                                                                                         |             |      |    |      |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価               | A                                                                                                       | 目標<br>(R 7) | 52 校 | 実績 | 52 校 |
| 取組内容             | 小学校を訪問し、第 1 学年の授業等の様子を観察し、児童への適切な支援方法ならびに、未就学時に支援を受けていた児童に関する支援方法等について教職員とともに検討し、あわせて児童の発達に関する情報提供を行った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組            | 引き続き、各学校を訪問することにより、切れ目のない支援を実施していく。                                                                     |             |      |    |      |
| 課題               | 小学校への事業の周知。教育と福祉の連携のための、よりよい事業の在り方の検討。                                                                  |             |      |    |      |

| 91 川口市自立支援協議会子ども部会開催回数 |                                                                  |             |     |    |     |
|------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                     | B                                                                | 目標<br>(R 7) | 3 回 | 実績 | 3 回 |
| 取組内容                   | 児童発達支援センターの中核機能の検証や、市内の障害児通所支援事業所連絡会を開催し、質の向上および事業所間の情報交換の場を設けた。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                  | 継続した検討と併せて、取組みの主旨や内容を広く周知していく。                                   |             |     |    |     |
| 課題                     | 事業所連絡会への参加事業所が少ないことから、連絡会参加のメリットが感じられる取組みや参加方法などを模索していく。         |             |     |    |     |

## 施策 15

## 障害児保育と療育体制の充実

### 取組

- 53 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）と放課後子供教室の推進
- 54 インクルーシブ保育の推進
- 55 障害児サービス基盤の充実
- 56 医療的ケア児支援の充実
- 57 重症心身障害児を受け入れる事業所の拡充
- 58 障害児（者）生活サポート事業
- 59 わかゆり学園の児童発達支援センター及び保育所等訪問支援の充実
- 60 障害児を抱える保護者への支援
- 61 地域生活支援拠点等の充実〈再掲〉
- 62 重層的支援体制整備事業の本格実施〈再掲〉

| 評価指標                                                        | 目標<br>R7 | 実績<br>R7                   | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8                 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|-------------------------------------------------------------|----------|----------------------------|----------|----------------------------|----------|-----------|-----------|
| 92 放課後児童クラブの障害児の受け入れ                                        | 継続       | 150 人                      | 継続       | 177 人                      | 継続       | →         | →         |
| 93 放課後児童クラブのアドバイザー派遣数                                       | 20 人     | 27 人                       | 20 人     | 32 人                       | 継続       | →         | →         |
| 94 障害児専門研修                                                  | 2 回      | 1 回                        | 2 回      | 1 回                        | 1 回      | 1 回       | 2 回       |
| 95 公設公営保育所加配職員数                                             | 24人      | 27 人                       | 24 人     | 28 人                       | 24 人     | 24 人      | 24 人      |
| 96 発育、発達の状況に応じた適切な療育を受けられる障害児サービスの充実                        | 継続       | →                          | →        | →                          | 継続       | →         | →         |
| 97 医療的ケア児等コーディネーター配置数                                       | 11人      | 11 人                       | 12 人     | 12 人                       | 12 人     | 12 人      | 12 人      |
| 98 医療的ケアが必要なお子さんのための総合支援ガイドブック改訂                            | 継続       | →                          | →        | →                          | 継続       | →         | →         |
| 99 重症心身障害児通所施設体制整備事業                                        | 継続       | 2 件                        | →        | 3 件                        | 継続       | →         | →         |
| 100 一時預かり、派遣による介護サービス、送迎サービス、外出援助サービス（①登録団体数②利用登録者数③利用延時間数） | 継続       | ①12団体<br>②158人<br>③4,767時間 | →        | ①12団体<br>②160人<br>③4,770時間 | 継続       | →         | →         |

|                                                                                                                           |      |      |          |     |     |     |     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|----------|-----|-----|-----|-----|
| 101通所利用児定員数                                                                                                               | 40人  | 35人  | 40人      | 30人 | 30人 | 30人 | 30人 |
| 102児童発達支援事業所連絡会の開催                                                                                                        | 2回   | 2回   | 2回       | 2回  | 2回  | 2回  | 2回  |
| 103保育所等保育発達相談会の開催                                                                                                         | 12回  | 12回  | 12回      | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 104地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数〈再掲〉                                                                                              | 12回  | 12回  | 12回      | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 105「孤独感・孤立感」の地域福祉に関するアンケート調査において<br>①「自分には人との付き合いがないと感じる」<br>②「自分は取り残されていると感じる」<br>③「自分は他の人たちから孤立していると感じる」における「常にある」の回答割合 | －    | －    | 前回調査より減少 | －   | －   | －   | －※  |
| 106アウトリーチ支援員の配置                                                                                                           | 4人   | 3人   | 5人       | －   | －   | －   | －※  |
| 107包括的相談支援事業所における他分野相談受付数                                                                                                 | 68件  | 74件  | 136件     | －   | －   | －   | －※  |
| 108世代・属性を問わない交流の場の数                                                                                                       | 72力所 | 62力所 | 92力所     | －   | －   | －   | －※  |

※川口市地域共生社会推進計画（令和9年度～令和11年度）において成果指標を設定するため未定。

| 92 放課後児童クラブの障害児の受け入れ |                                                                                         |            |    |    |      |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|------|
| 評価                   | A                                                                                       | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 150人 |
| 取組内容                 | 研修を通して専門的知識を有する支援員を確保しながら、各小学校に設置している放課後児童クラブの受け入れ枠を適切に整備し、放課後生活への支援を進めている。             |            |    |    |      |
| 今後の取組                | 特別支援学級への通う児童以外にも、特別な配慮を必要とする児童が利用する場合、支援員を増員し、該当児童が放課後生活を安心安全に過ごせるように支援していく。            |            |    |    |      |
| 課題                   | 特別支援学級へ通う児童が増加傾向にあることから、放課後児童クラブを利用する児童数の増加が懸念される。支援員や児童の預かりスペースの確保に向け、事業者及び小学校と調整を進める。 |            |    |    |      |



| 93 放課後児童クラブのアドバイザー派遣数 |                                                                        |             |      |    |      |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                    | B                                                                      | 目標<br>(R 7) | 20 人 | 実績 | 27 人 |
| 取組内容                  | 埼玉県が実施している放課後児童クラブ巡回支援（アドバイザー派遣）事業を利用し、支援員へ助言・指導を行うことで質の向上を図っている。      |             |      |    |      |
| 今後の取組                 | 各放課後児童クラブ支援員が、適切なアドバイスを受け、児童への対応に活かせるように、アドバイザー派遣への同行やアフターケアを続けていく。    |             |      |    |      |
| 課題                    | 一部の支援員が助言・指導による質の向上を図れることは多いが、全体的な保育力の向上につながらないことが多く、根本的な問題の解決になっていない。 |             |      |    |      |

| 94 障害児専門研修 |                                                                                                                   |             |     |    |     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価         | A                                                                                                                 | 目標<br>(R 7) | 2 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容       | 保育所等職員として必要な障害児に対する知識や理解を高めるとともに、保育者としての資質向上を図る目的で「発達障害の理解と現場での具体的な対応」という内容で実施した。会場を広くしたことで実施回数を 1 回とし 63 名が参加した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組      | 発達障害に関する知識や理解を深め、障害児に対する適切な支援保育を行えるよう、研修内容の充実を図る。                                                                 |             |     |    |     |
| 課題         | 発達障害児が増加している現状を踏まえ、適切な支援を行うため、より高度な知識やスキルが求められている。                                                                |             |     |    |     |

| 95 公設公営保育所加配職員数 |                                                                                                                                   |             |      |    |      |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価              | A                                                                                                                                 | 目標<br>(R 7) | 24 人 | 実績 | 27 人 |
| 取組内容            | 公設公営保育所において、発達の遅れや障害のある児童を受け入れ、他の児童と集団の中で生活するうえで、安心安全な保育を行うために必要な保育士の人数を確保する必要があるが、障害の程度によって必要な人数が流動的であり、7 年度は 27 名の加配保育士が必要であった。 |             |      |    |      |
| 今後の取組           | 加配職員のみ支援を任せるのではなく、園全体で障害児を支援する体制づくりを進める。                                                                                          |             |      |    |      |
| 課題              | 職員の確保が難しい状況にある。また、対応が難しい子どもが増えていることから、職員へのメンタル面・体力面でのケアも必要である。                                                                    |             |      |    |      |

| 96 発育、発達状況に応じた適切な療育を受けられる障害児サービスの充実 |                                                                                     |            |    |    |    |
|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|----|
| 評価                                  | B                                                                                   | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 継続 |
| 取組内容                                | 障害のある児童の日常生活等を支えるため、「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」「居宅訪問型児童発達支援」「障害児相談支援」などの支援を提供した。 |            |    |    |    |
| 今後の取組                               | 適切なアセスメントを実施し、必要とするサービスが受けられるよう支援する。                                                |            |    |    |    |
| 課題                                  | サービス事業所が不足しているメニューがある。                                                              |            |    |    |    |

| 97 医療的ケア児等コーディネーター配置数 |                                                                                                                |            |     |    |     |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|----|-----|
| 評価                    | B                                                                                                              | 目標<br>(R7) | 11人 | 実績 | 11人 |
| 取組内容                  | 人工呼吸器を装着している等、日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等（以下「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を配置した。 |            |     |    |     |
| 今後の取組                 | 7年度より開催している医療的ケア児等コーディネーター連絡会での取組みの充実を図る。                                                                      |            |     |    |     |
| 課題                    | 医療的ケア児等コーディネーターのスキル、経験値の拡大およびネットワークを構築し、情報の交換や共有の場を定期的に提供していく必要がある。                                            |            |     |    |     |

| 98 医療的ケアが必要なお子さんのための総合支援ガイドブック改訂 |                                                         |            |    |    |    |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------|------------|----|----|----|
| 評価                               | B                                                       | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | 継続 |
| 取組内容                             | 医療的ケア児が必要なお子さんやその家族が抱える不安を少しでも解消し、生活の中で生じる問題を解決する一助とする。 |            |    |    |    |
| 今後の取組                            | 毎年度改訂版として新たな情報を提供していく。                                  |            |    |    |    |
| 課題                               | 必要としている児童や家族の状況の確認およびニーズの実態把握。                          |            |    |    |    |

| 99 重症心身障害児通所施設体制整備事業 |                                                     |             |    |    |     |
|----------------------|-----------------------------------------------------|-------------|----|----|-----|
| 評価                   | A                                                   | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 2 件 |
| 取組内容                 | 重症心身障害児通所施設の体制整備に要する経費の一部を補助した。                     |             |    |    |     |
| 今後の取組                | 重症心身障害児の日中活動の場の確保並びに安定した日常生活及び社会生活の推進を図るため事業の継続を行う。 |             |    |    |     |
| 課題                   | 需要を見込む上で、重症心身障害児の数の把握などが難しい。                        |             |    |    |     |

| 100 一時預かり、派遣による介護サービス、送迎サービス、外出援助サービス<br>(①登録団体数②利用登録者数③利用延時間数) |                                                                                                                                        |             |    |    |                             |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-----------------------------|
| 評価                                                              | A                                                                                                                                      | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | ①12団体<br>②158人<br>③4,767 時間 |
| 取組内容                                                            | 在宅の障害児（者）及び家族の地域生活を支援するため、障害者総合支援法における法定サービスや地域生活支援事業では提供することが難しい、障害児（者）の一時預かり、派遣による介護や外出の付き添いなど、本人や家族の必要としているサービスを提供し、日常生活の負担の軽減に努めた。 |             |    |    |                             |
| 今後の取組                                                           | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                                                                   |             |    |    |                             |
| 課題                                                              | 特になし。                                                                                                                                  |             |    |    |                             |

| 101 通所利用児定員数 |                                                    |             |      |    |      |
|--------------|----------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価           | B                                                  | 目標<br>(R 7) | 40 人 | 実績 | 35 人 |
| 取組内容         | 障害のある児童に対して日所生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等、必要な支援を行った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組        | 引き続き障害のある児童に対して必要な指導、支援を実施していく。                    |             |      |    |      |
| 課題           | 利用児の減少が課題となる。                                      |             |      |    |      |

| 102 児童発達支援事業所連絡会の開催 |                                                                                       |             |     |    |     |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                  | A                                                                                     | 目標<br>(R 7) | 2 回 | 実績 | 2 回 |
| 取組内容                | 7 月と 1 月に児童発達支援事業所連絡会を実施。テーマに基づき講演とグループワークを行い、情報共有を行った上で、地域の関係機関との連携が図れるように関係づくりを行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組               | 引き続き児童発達支援事業所連絡会の開催を実施する。                                                             |             |     |    |     |
| 課題                  | 児童発達支援事業所の参加率の向上が課題となる。                                                               |             |     |    |     |

| 103 保育所等保育発達相談会の開催 |                                                                                                                                |             |      |    |      |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                 | A                                                                                                                              | 目標<br>(R 7) | 12 回 | 実績 | 12 回 |
| 取組内容               | 指導相談員が保育所等に在籍する児童の保護者からの子育てや児童の発達等に関する相談に応じ、必要な助言等を行うことにより、児童福祉の向上を目的とし、1 日 4 組の枠で 7 年度は 12 日実施した。体調不良等でのキャンセルがあり、41 組の実施となった。 |             |      |    |      |
| 今後の取組              | 保護者の相談内容に寄り添い、保護者と児童が安定した関係を築けるよう支援するとともに、児童の健やかな成長と発達を促すため、必要な助言を行っていく。                                                       |             |      |    |      |
| 課題                 | 令和 7 年度より 1 日 3 枠を 4 枠に増やしたが、保護者のニーズが高く、相談の枠が早期に埋まってしまう。                                                                       |             |      |    |      |

| 104 地域生活支援拠点等ネットワーク会議の開催数〈再掲〉 |                                                                                                 |             |      |    |      |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                            | A                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 12 回 | 実績 | 12 回 |
| 取組内容                          | 障害者の重度化・高齢化や親なきあとへの備え、現に重度の障害がある人や医療的ケアを必要とする人等の居住支援のための機能を、地域の実情に応じて充実するよう会議を開催し、地域の体制づくりを図った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                         | 空床情報の共有範囲及びリアルタイムでの情報提供について検討。                                                                  |             |      |    |      |
| 課題                            | 相談支援事業所や施設の拠点に対する理解促進。                                                                          |             |      |    |      |

| 105「孤独感・孤立感」の地域福祉に関するアンケート調査において①「自分には人との付き合いがないと感じる」②「自分は取り残されていると感じる」③「自分は他の人たちから孤立していると感じる」における「常にある」の回答割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |   |    |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---|----|---|
| 評価                                                                                                            | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 目標<br>(R 7) | － | 実績 | － |
| 取組内容                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代属性を問わない交流の場を新たに設置する団体に食費用の一部を助成する川口市みんなの居場所設置支援助成金事業を実施した。</li> <li>・ウエルシア薬局株式会社と連携協定を締結し、移動販売による地域コミュニティの創出による居場所づくりを実施した。</li> <li>・市内の見守り体制の強化のため、つながりサポーター養成講座を実施した。</li> <li>・孤独・孤立対策や地域づくりの取り組みから生まれた地域活動に対し、活動への助言や広報などの後方支援を行った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                            |             |   |    |   |
| 今後の取組                                                                                                         | <p>令和8年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川口市つながりに関する基礎調査」の分析の結果を地域包括支援センター等関係機関と共有し、地域での効果的な相談支援や地域づくりに活用してもらうとともに、各機関と市で地域に必要な社会資源等を検討する協議の場を設ける。</li> <li>・地域活動の意欲があるにもかかわらず、場所がない等により、立ち上げに至らない団体等に対する支援策を検討し実施する。</li> <li>・一般市民向けのつながりサポーター養成講座を継続する。</li> <li>・移動販売車の停留場所を精査し、地域コミュニティ創出の機会を増やすため、運行スケジュールの改訂を行う。</li> </ul> <p>令和9年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内包括化推進員を、保健・福祉分野に限らず、多岐にわたる分野の推進員に拡大していく。</li> <li>・包括的相談支援事業所連絡会及び包括的相談支援事業所への訪問を継続する。</li> </ul> |             |   |    |   |
| 課題                                                                                                            | 包括的な支援体制の整備及び充実のため、各分野の支援関係機関が対応できる範囲の拡大や連携体制の構築及び標準化が課題である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |             |   |    |   |

| 106 アウトリーチ支援員の配置 |                                                                                               |             |     |    |     |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価               | B                                                                                             | 目標<br>(R 7) | 4 人 | 実績 | 3 人 |
| 取組内容             | 「複雑化・複合化した支援ニーズがあり、特定の分野が単独で支援することが困難な者・世帯」や「支援が届いていない者・世帯」に対して信頼関係の構築のため、前年度に引き続き支援員を3人配置した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組            | アウトリーチ等を通じた継続的支援事業を継続する。                                                                      |             |     |    |     |
| 課題               | アウトリーチ支援員の増員。                                                                                 |             |     |    |     |

| 107 包括的相談支援事業所における他分野相談受付数 |                                                                                                                                                                                                                     |             |      |    |      |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                         | A                                                                                                                                                                                                                   | 目標<br>(R 7) | 68 件 | 実績 | 74 件 |
| 取組内容                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域包括支援センター等35事業所の職員を対象に包括的相談支援事業所連絡会を開催し、研修や事例共有、意見交換を実施した。</li> <li>・多機関協働事業が包括的相談支援事業所へ訪問し、複雑化・複合化した支援ニーズを有する事例を紹介するとともに複雑化・複合化した課題を有する事案を事業所から引き上げて支援を行った。</li> </ul> |             |      |    |      |
| 今後の取組                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的相談支援事業所連絡会を継続する。</li> <li>・包括的相談支援事業所へ訪問を継続する。</li> </ul>                                                                                                                |             |      |    |      |
| 課題                         | 世代、属性、相談内容を問わずに相談の受け止める包括的相談支援の徹底。                                                                                                                                                                                  |             |      |    |      |

| 108 世代・属性を問わない交流の場の数 |                                                                                                                                                                 |             |       |    |       |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                   | B                                                                                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 72 カ所 | 実績 | 62 カ所 |
| 取組内容                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●川口市みんなの居場所設置支援助成金事業を利用し 8 か所設置した。</li> <li>●地域づくりトークセッションをきっかけに 1 か所設置された。</li> <li>●その他の取組をきっかけに 7 か所設置された。</li> </ul> |             |       |    |       |
| 今後の取組                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動の意欲があるにもかかわらず、場所がない等により、立ち上げに至らない団体等に対する支援策を検討し、実施する。</li> </ul>                                                    |             |       |    |       |
| 課題                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●場所の提供が可能な社会福祉法人等、協力団体の確保。</li> </ul>                                                                                    |             |       |    |       |

## 施策 16 特別支援教育の推進

### 取組

### 63 特別支援教育の推進

| 評価指標                               | 目標<br>R7         | 実績<br>R7         | 目標<br>R8         | 実績見込<br>R8       | 目標<br>R9         | 目標<br>R10        | 目標<br>R11        |
|------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 109 相談担当者の研修開催数                    | 10 回             | 11 回             | 10 回             | 10 回             | 10 回             | 10 回             | 10 回             |
| 110 特別支援教育コーディネーター研修開催数            | 2 回              | 2 回              | 2 回              | 2 回              | 2 回              | 2 回              | 2 回              |
| 111 通級指導教室における年度当初待機児童生徒数          | 0 人              | 0 人              | 0 人              | 0 人              | 0 人              | 0 人              | 0 人              |
| 112 小中学校の特別支援教育の全体計画への指導助言率        | 100%             | 100%             | 100%             | 100%             | 100%             | 100%             | 100%             |
| 113 在籍校と通級校の連絡協議会の開催数              | 3 回              | 3 回              | 3 回              | 3 回              | 3 回              | 3 回              | 3 回              |
| 114 特別支援学級設置校における特別支援学級等補助員募集案内の実施 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 | 広報 1 回<br>H P 随時 |
| 115 教職員への特別支援教育に係る研修開催数            | 30 回             | 43 回             | 30 回             | 43 回             | 43 回             | 43 回             | 43 回             |

| 109 相談担当者の研修開催数 |                                                             |             |      |    |      |
|-----------------|-------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価              | A                                                           | 目標<br>(R 7) | 10 回 | 実績 | 11 回 |
| 取組内容            | 面談や訪問しての相談、電話相談等様々な形の相談を行うために特別支援教育推進の理解や相談方法のスキルアップに取り組んだ。 |             |      |    |      |
| 今後の取組           | 事例検討などの研修を取り入れながら、スキルアップに努める。                               |             |      |    |      |
| 課題              | 一人一人が様々なケースの相談業務が行えるように更なるスキルアップをすること。                      |             |      |    |      |

| 110 特別支援教育コーディネーター研修開催数 |                                                                   |             |     |    |     |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                      | A                                                                 | 目標<br>(R 7) | 2 回 | 実績 | 2 回 |
| 取組内容                    | 障害に関する理解、就学相談の進め方、就学支援等をはじめ、個々の教育的ニーズを踏まえた子に応じた指導の在り方についての講義を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                   | 就学相談の進め方を別に説明会の形で開き、障害に関する理解や就学支援に重きを置いた研修とする。                    |             |     |    |     |
| 課題                      | 初めて特別支援教育コーディネーターになる人への支援の充実を図ること。                                |             |     |    |     |

| 111 通級指導教室における年度当初待機児童生徒数 |                                                              |             |     |    |     |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                        | A                                                            | 目標<br>(R 7) | 0 人 | 実績 | 0 人 |
| 取組内容                      | 就学支援委員会において、通級指導を受ける児童生徒の把握、及び、県への通級による指導にかかる教員の配置申請を適切に行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                     | 基礎定数による配置が完全実施となるため、引き続き適切に配置申請を行う。                          |             |     |    |     |
| 課題                        | 年度末に転出入する児童生徒を学校や関係高と連携して把握すること。                             |             |     |    |     |

| 112 小中学校の特別支援教育の全体計画への指導助言率 |                                                             |             |      |    |      |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                          | A                                                           | 目標<br>(R 7) | 100% | 実績 | 100% |
| 取組内容                        | 全市立小中学校より提出された特別支援教育の全体計画を確認し、指導・助言を行い、必要に応じて訂正するように指導している。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                       | 引き続き、全市立小中学校の特別支援教育の全体計画を確認、指導・助言していく。                      |             |      |    |      |
| 課題                          | 全市立小中学校が学校の実態に合った適切な全体計画を作成できるようにすること。                      |             |      |    |      |



| 113 在籍校と通級校の連絡協議会の開催数 |                                                                             |             |     |    |     |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                    | A                                                                           | 目標<br>(R 7) | 3 回 | 実績 | 3 回 |
| 取組内容                  | 通級指導教室に通っている児童生徒について、通級校の担当者と在籍校の担任若しくは特別支援教育コーディネーターで、電話・オンライン等で連絡協議会を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                 | 通級校と在籍校で児童生徒の状況を適切に把握するべく、引き続き連絡協議会を行っていく。                                  |             |     |    |     |
| 課題                    | 通級による指導を受ける児童生徒が増えると通級校担当者と在籍校で時間調整をすることが難しくなること。                           |             |     |    |     |

| 114 特別支援学級設置校における特別支援学級等補助員募集案内の実施 |                                                                          |             |                 |    |                 |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------|-----------------|----|-----------------|
| 評価                                 | A                                                                        | 目標<br>(R 7) | 広報 1 回<br>HP 随時 | 実績 | 広報 1 回<br>HP 随時 |
| 取組内容                               | 広報かわぐちに募集案内を掲載した。R 7 年度より「特別支援学級等補助員」と「特別支援教育支援員」を統合し、「特別支援教育こども支援員」とした。 |             |                 |    |                 |
| 今後の取組                              | 今後も引き続き、年度当初に確実に配置できるよう募集に努める。                                           |             |                 |    |                 |
| 課題                                 | 特別支援教育こども支援員として勤務できる優秀な人材を確保すること。                                        |             |                 |    |                 |

| 115 教職員への特別支援教育に係る研修開催数 |                                         |             |      |    |        |
|-------------------------|-----------------------------------------|-------------|------|----|--------|
| 評価                      | S                                       | 目標<br>(R 7) | 30 回 | 実績 | 年 43 回 |
| 取組内容                    | 教員の専門性向上に向けて、関係機関や専門家と連携した様々な研修を実施していく。 |             |      |    |        |
| 今後の取組                   | 令和 8 年度より管理職を対象とした研修を実施していく。            |             |      |    |        |
| 課題                      | 学校のニーズや実態に合った研修内容を計画・実施していくこと。          |             |      |    |        |

## 基本目標 5

## 保健・医療体制の充実

### 施策 17 保健活動の充実

#### 取組

- 64 精神保健福祉に関する市民向け講座等の開催
- 65 生活習慣病の予防
- 66 障害者歯科健診の実施
- 67 改正精神保健福祉法に対応する行政機関の体制拡充
- 68 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの充実

| 評価指標                                                           | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|----------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 116 こころの健康講座<br>視聴回数                                           | 1,000 回  | 401 回    | 1,000 回  | 1,000 回    | 1,000 回  | 1,000 回   | 1,000 回   |
| 117 家族教室参加実人数                                                  | 40 人     | 22 人     | 40 人     | 40 人       | 40 人     | 40 人      | 40 人      |
| 118 こころのサポーター<br>養成講座参加実人数                                     | 60 人     | 139 人    | 60 人     | 60 人       | 60 人     | 60 人      | 60 人      |
| 119 がん検診受診率                                                    | 前年値を上回る  | 13.71%   | 前年値を上回る  | 13.71%     | 前年値を上回る  | 前年値を上回る   | 前年値を上回る   |
| 120 健康教室への参加人数                                                 | 5,000 人  | 5,348 人  | 5,000 人  | 5,500 人    | 5,500 人  | 5,500 人   | 5,500 人   |
| 121 障害者通所施設において<br>歯科健診をした受診者数                                 | 620 人    | 604 人    | 630 人    | 630 人      | 640 人    | 650 人     | 660 人     |
| 122 市長同意による医療<br>保護入院の申請の受け付け                                  | 継続       | 78 件     | 継続       | 78 件       | 継続       | →         | →         |
| 123 若年者早期相談・支援<br>事業（こころサポートステーション<br>SODA かわぐち）の延支援回数<br>〈再掲〉 | 1,800 回  | 2,803 回  | 1,800 回  | 1,800 回    | 1,800 回  | 1,800 回   | 1,800 回   |
| 124 精神障害者ピアサポート<br>講座参加者数（定員 35 名）<br>〈再掲〉                     | 35 人     | 26 人     | 35 人     | 35 人       | 35 人     | 35 人      | 35 人      |
| 125 普及啓発回数                                                     | 1 回      | 1 回      | 1 回      | 1 回        | 1 回      | 1 回       | 1 回       |
| 126 精神障害者訪問支援<br>強化事業（アウトリーチ事業）<br>利用者数                        | 70 人     | 49 人     | 70 人     | 70 人       | 70 人     | 70 人      | 70 人      |

| 116 こころの健康講座視聴回数 |                                                                                                 |             |         |    |       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|-------|
| 評価               | D                                                                                               | 目標<br>(R 7) | 1,000 回 | 実績 | 401 回 |
| 取組内容             | 精神保健福祉に関する普及啓発を目的とし映像制作業務を依頼し、オンデマンド配信形式で講座を実施した。テーマは「ストレスをためないお酒の飲み方について ～上手なお酒との付き合い方～」を配信した。 |             |         |    |       |
| 今後の取組            | 精神保健福祉に関する普及啓発を目的とした講座を継続する。また、より多くの市民の方々に興味・関心を持ってもらえるような創意工夫を試みる。                             |             |         |    |       |
| 課題               | テーマにより視聴回数に差が出ているため、多くの市民の方々に興味・関心を持ってもらえるようなテーマ設定や、その分野を専門とする講師の確保が難しい。                        |             |         |    |       |

| 117 家族教室参加実人数 |                                                                                               |             |      |    |      |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価            | C                                                                                             | 目標<br>(R 7) | 40 人 | 実績 | 22 人 |
| 取組内容          | 精神障害者等の家族に対し、健康を向上させることを目的として、統合失調症とアルコール関連問題に関する家族教室を各 3 日間コースで開催した。                         |             |      |    |      |
| 今後の取組         | 継続して精神障害者等の家族に対し、健康を向上させることを目的として、病気や障害についての正しい知識や対応の仕方を習得する場を提供する。地域の実情に応じて、教室のテーマについては検討する。 |             |      |    |      |
| 課題            | アルコール関連問題家族教室は参加者が減少している。周知方法や会場、開催日時を検討していく必要がある。                                            |             |      |    |      |

| 118 こころのサポーター養成講座参加実人数 |                                                                          |             |      |    |       |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|-------|
| 評価                     | S                                                                        | 目標<br>(R 7) | 60 人 | 実績 | 139 人 |
| 取組内容                   | 精神疾患やメンタルヘルスに対する知識を地域住民に理解してもらい、誰もが地域で安心して暮らせるよう、年 2 回こころサポーター養成講座を実施した。 |             |      |    |       |
| 今後の取組                  | こころサポーター養成講座の実施を継続する。より多くの「心のサポーター」を養成するため、周知方法や開催方法を検討し受講者の拡大を図る。       |             |      |    |       |
| 課題                     | 若年者や男性の参加が少なく、講座の周知方法や開催方法によっては参加者の偏りが生じる可能性がある。                         |             |      |    |       |

| 119 がん検診受診率 |                                                                      |             |         |    |        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|--------|
| 評価          | B                                                                    | 目標<br>(R 7) | 前年値を上回る | 実績 | 13.71% |
| 取組内容        | 「健康増進法」に基づき、市民の健康の維持・増進及びがんの早期発見を促し、早期治療につなげることを目的として、各種がん検診を実施している。 |             |         |    |        |
| 今後の取組       | けんしんガイドブックやがん検診等の受診券をよりわかりやすく作成し、I C T等を活用した周知活動を行い受診率の向上を目指す。       |             |         |    |        |
| 課題          | がん検診受診率が目標値に達しなかったため、周知活動を強化する。                                      |             |         |    |        |

| 120 健康教室への参加人数 |                                                                                                            |             |         |    |         |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 評価             | A                                                                                                          | 目標<br>(R 7) | 5,000 人 | 実績 | 5,348 人 |
| 取組内容           | 生活習慣病および介護予防、その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自分の健康は自分でつくる」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持・増進に資することを目的として、実施している。 |             |         |    |         |
| 今後の取組          | ICT を活用した健康教育や健康相談を取り入れ、広く周知啓発していくことで、参加者数の増加を目指す。                                                         |             |         |    |         |
| 課題             | 対面での実施では定員や時間の制約等により、市民が参加しにくい現状にある。オンラインによる健康教室を実施し、参加者の増加を目指すとともに現状ではアプローチが難しかった働き世代の参加を促す。              |             |         |    |         |

| 121 障害者通所施設において歯科健診をした受診者数 |                                                                   |             |       |    |       |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                         | B                                                                 | 目標<br>(R 7) | 620 人 | 実績 | 604 人 |
| 取組内容                       | 川口歯科医師会と連携し、障害者通所施設に訪問し、歯科医師による歯科健康診査、歯科衛生士による歯科保健指導、フッ化物塗布を実施した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組                      | 引き続き、取り組みを実施する。                                                   |             |       |    |       |
| 課題                         | 実施後の効果を確認できていない。                                                  |             |       |    |       |

| 122 市長同意による医療保護入院の申請の受付 |                                                                 |             |    |    |      |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------|----|----|------|
| 評価                      | A                                                               | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 78 件 |
| 取組内容                    | 市長同意による医療保護入院者への面接を通じ、円滑に退院後の地域生活に移行できるよう、地域援助事業者についての情報提供を行った。 |             |    |    |      |
| 今後の取組                   | 引き続き、取り組みを実施する。                                                 |             |    |    |      |
| 課題                      | 認知症患者に対する面接及び地域移行への取り組みについて、高齢者部門との連携が必要。                       |             |    |    |      |

| 123 若年者早期相談・支援事業（こころサポートステーション SODA かわぐち）の延支援回数〈再掲〉 |                                                                              |             |         |    |         |
|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 評価                                                  | S                                                                            | 目標<br>(R 7) | 1,800 回 | 実績 | 2,803 回 |
| 取組内容                                                | おおむね 15 歳から 35 歳の若年者に対し、精神科医師、公認心理師、精神保健福祉士等の多職種専門チームによる相談支援を実施した。           |             |         |    |         |
| 今後の取組                                               | 上記取組を継続し、精神科医や臨床心理士、精神保健福祉士等の多職種によるチームアプローチにより若年者が抱える多様な課題に対し、包括的な支援を実施していく。 |             |         |    |         |
| 課題                                                  | 他機関連携及び市民等のメンタルヘルスリテラシーを高めるための活動の検討。                                         |             |         |    |         |

| 124 精神障害者ピアサポート講座参加者数（定員 35 名）〈再掲〉 |                                                 |             |      |    |      |
|------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                                 | C                                               | 目標<br>(R 7) | 35 人 | 実績 | 26 人 |
| 取組内容                               | 市内で活動する精神障害者当事者が参加する講座を開催し、ピアカウンセリングを行える環境を整えた。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                              | 引き続き、取り組みを実施する。                                 |             |      |    |      |
| 課題                                 | 講座受講者の活躍の場の確保。                                  |             |      |    |      |

| 125 普及啓発回数 |                                                                                                         |             |     |    |     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価         | A                                                                                                       | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容       | 第一本庁舎内等でのポスター展示及び将来的な職業選択の一つに障害福祉及び精神保健医療福祉分野が当たり前となるよう、中学校へ出向き、精神保健福祉を中心とした保健医療福祉に携わる職種や機関についての紹介を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組      | 引き続き、他の中学校にて、昨年同様の事業を行う。                                                                                |             |     |    |     |
| 課題         | ポスター展示場所の確保及び中学生の職業体験事業への採用。                                                                            |             |     |    |     |

| 126 精神障害者訪問支援強化事業（アウトリーチ事業）延支援人数 |                                                                                                                                                                                                                                                         |             |      |    |      |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                               | C                                                                                                                                                                                                                                                       | 目標<br>(R 7) | 70 人 | 実績 | 49 人 |
| 取組内容                             | 精神科医療の中断者、精神疾患が疑われる未受診者、長期入院後に退院した者、入退院を繰り返す者（病状が安定していない者）、精神疾患が疑われるひきこもり状態の者及びメンタルヘル스에課題を有する者に対し、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士等の多職種のチームで訪問、面接、電話等による支援を行った。                                                                                                     |             |      |    |      |
| 今後の取組                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記取組の継続。</li> <li>・評価会議にて事業のビジョンを「アウトリーチ支援によって重症化、孤立化、再発を予防し、対象者のこころの健康と地域生活を支援する」と定め、「個別支援の充実」「地域連携・人材育成」「地域づくり」の3つの柱を軸に取組を実施する。<br/>（①関係機関に本事業を周知する②障害福祉事業所等が開催する会議等に参加する③国や県等が実施する研修や最新の情報等を提供する）</li> </ul> |             |      |    |      |
| 課題                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業終了時に利用者全員が適切な社会資源等につながる。</li> <li>・訪問支援員と地域の関係機関との関係構築。</li> </ul>                                                                                                                                           |             |      |    |      |

## 施策 18

## 医療体制の充実と経済的負担の軽減

### 取組

- 69 周産期医療体制の充実
- 70 重度心身障害者への支援
- 71 自立支援医療の推進

| 評価指標                                                         | 目標<br>R7 | 実績<br>R7 | 目標<br>R8 | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9 | 目標<br>R10 | 目標<br>R11 |
|--------------------------------------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----------|
| 127 周産期医療体制の充実                                               | 継続       | →        | →        | →          | 継続       | →         | →         |
| 128 重度心身障害者医療費に係る電子申請受付の拡充                                   | 30%      | 26%      | 35%      | 33%        | 40%      | 45%       | 50%       |
| 129 65歳から74歳で一定の障害があり、後期高齢者医療制度に加入している方への、障害者手帳の更新期限前の制度の再周知 | 12回      | 12回      | 12回      | 12回        | 12回      | 12回       | 12回       |
| 130 更生医療給付件数                                                 | 継続       | 14,759件  | →        | 16,342件    | 継続       | →         | →         |
| 131 育成医療給付件数                                                 | 継続       | 237件     | →        | 324件       | 継続       | →         | →         |
| 132 精神通院医療給付件数                                               | 継続       | 12,309件  | →        | 継続         | 継続       | →         | →         |

| 127 周産期医療体制の充実 |                                                                                                             |            |    |    |   |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|----|---|
| 評価             | A                                                                                                           | 目標<br>(R7) | 継続 | 実績 | → |
| 取組内容           | 小児科、新生児集中治療科、リハビリテーション科などはもとより、関係医療機関とも連携を取りながら、ハイリスク新生児の集中治療・ハイリスク乳幼児の発育発達のフォローアップ、障害の早期発見、リハビリテーションを推進した。 |            |    |    |   |
| 今後の取組          | 取組内容を継続して実施する。                                                                                              |            |    |    |   |
| 課題             | 分娩取扱件数は減少しているが、ハイリスク分娩に対応するため、地域周産期母子医療センターとしての機能を維持していく必要がある。                                              |            |    |    |   |

| 128 重度心身障害者医療費に係る電子申請受付の拡充 |                                           |             |     |    |     |
|----------------------------|-------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                         | B                                         | 目標<br>(R 7) | 30% | 実績 | 26% |
| 取組内容                       | 重度心身障害者医療費に係る電子申請受付の提出フォームを追加し、受付項目を拡充した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                      | 口座エラー対象者や保険変更未届者などへの周知に力を入れ、利用の促進を図る。     |             |     |    |     |
| 課題                         | 電子申請可能な手続きの周知が十分ではない。                     |             |     |    |     |

| 129 65歳から74歳で一定の障害があり、後期高齢者医療制度に加入している方への、障害者手帳の更新期限前の制度の再周知 |                                                |             |      |    |      |
|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                                                           | A                                              | 目標<br>(R 7) | 12 回 | 実績 | 12 回 |
| 取組内容                                                         | 障害者手帳の更新期限前に該当者へ制度の再周知とあわせ、制度継続意思確認の勧奨通知を発送した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                                                        | 障害者手帳の更新期限前に該当者へ勧奨通知を発送する。                     |             |      |    |      |
| 課題                                                           | 更新期限後は、加入申請日から適用するので一時的に他の健康保険に加入する必要がある。      |             |      |    |      |

| 130 更生医療給付件数 |                                                         |             |    |    |          |
|--------------|---------------------------------------------------------|-------------|----|----|----------|
| 評価           | A                                                       | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 14,759 件 |
| 取組内容         | 心身の障害を除去・軽減するため、障害者総合支援法に基づく自立支援医療（更生医療）費を支給し、負担軽減を図った。 |             |    |    |          |
| 今後の取組        | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                    |             |    |    |          |
| 課題           | 予算確保という課題がある。                                           |             |    |    |          |



| 131 育成医療給付件数 |                                                         |             |    |    |       |
|--------------|---------------------------------------------------------|-------------|----|----|-------|
| 評価           | A                                                       | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 237 件 |
| 取組内容         | 心身の障害を除去・軽減するため、障害者総合支援法に基づく自立支援医療（育成医療）費を支給し、負担軽減を図った。 |             |    |    |       |
| 今後の取組        | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                    |             |    |    |       |
| 課題           | 予算確保という課題がある。                                           |             |    |    |       |

| 132 精神通院医療給付件数 |                                            |             |    |    |          |
|----------------|--------------------------------------------|-------------|----|----|----------|
| 評価             | A                                          | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 12,309 件 |
| 取組内容           | 障害者総合支援法等に基づき、埼玉県より認定されたものに対し受給者証の交付等を行った。 |             |    |    |          |
| 今後の取組          | 障害者総合支援法等に基づき、埼玉県より認定されたものに対し受給者証の交付等を行う。  |             |    |    |          |
| 課題             | 特になし。                                      |             |    |    |          |

## 基本目標 6

## 障害者にとって安全・安心のまちづくり

### 施策 19 バリアフリーのまちづくりの推進

#### 取組

72 バリアフリーのまちづくりの推進

73 思いやり駐車場制度の拡充

74 学習・文化活動の場の環境整備

75 公共交通機関の利便性向上

| 評価指標                      | 目標<br>R7    | 実績<br>R7 | 目標<br>R8    | 実績見込<br>R8 | 目標<br>R9    | 目標<br>R10   | 目標<br>R11   |
|---------------------------|-------------|----------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 133 埼玉県福祉のまちづくり条例適合建築物数   | 8 棟         | 6 棟      | 8 棟         | 8 棟        | 9 棟         | 9 棟         | 10 棟        |
| 134 歩道整備及び既存歩道のバリアフリー化力所数 | 2 力所        | 2 力所     | 2 力所        | 2 力所       | 2 力所        | 2 力所        | 2 力所        |
| 135 道路不法投棄物撤去業務の実施        | 150 回<br>程度 | 142 回    | 150 回<br>程度 | 145 回      | 150 回<br>程度 | 150 回<br>程度 | 150 回<br>程度 |
| 136 公園施設のバリアフリー化力所数       | 2 力所        | 1 力所     | 2 力所        | 2 力所       | 2 力所        | 2 力所        | 2 力所        |
| 137 水辺に近づくスロープの設置力所       | 10 力所       | 10 力所    | 10 力所       | 10 力所      | 10 力所       | 10 力所       | 10 力所       |
| 138 制度の周知と複数の課の窓口での利用証を交付 | 継続          | 704 件    | →           | →          | 継続          | →           | →           |
| 139 バリアフリー化実施力所数          | 12 力所       | 12 力所    | 13 力所       | 13 力所      | 14 力所       | 15 力所       | 15 力所       |
| 140 市内乗入路線バスのノンステップバス導入率  | 80.0%       | 84.4%    | 82.0%       | —          | 84.0%       | 86.0%       | 88.0%       |

| 133 埼玉県福祉のまちづくり条例適合建築物数 |                                                          |             |     |    |     |
|-------------------------|----------------------------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                      | C                                                        | 目標<br>(R 7) | 8 棟 | 実績 | 6 棟 |
| 取組内容                    | 障害者等の住みよいまちづくりを推進するため、埼玉県福祉のまちづくり条例に定める基準に基づき、適切に指導を行った。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                   | 引き続き、基準に適合するよう指導を行う。                                     |             |     |    |     |
| 課題                      | 適合させるためのコスト増が課題。                                         |             |     |    |     |

| 134 歩道整備及び既存歩道のバリアフリー化力所数 |                                             |             |      |    |      |
|---------------------------|---------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                        | A                                           | 目標<br>(R 7) | 2 力所 | 実績 | 2 力所 |
| 取組内容                      | 横断歩道から歩道へ乗入れする際に段差があり通行しづらかったが、段差解消工事を実施した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組                     | 引き続き予算の範囲内で段差解消工事の実施に努めていく。                 |             |      |    |      |
| 課題                        | 昨今の物価等高騰に伴い工事費も高額となっているため、予算確保に課題がある。       |             |      |    |      |

| 135 道路不法投棄物撤去業務の実施 |                                        |             |         |    |       |
|--------------------|----------------------------------------|-------------|---------|----|-------|
| 評価                 | B                                      | 目標<br>(R 7) | 150 回程度 | 実績 | 142 回 |
| 取組内容               | 予算の範囲内で交通の安全を図るため、道路上の落下物、放置物等の解消に努めた。 |             |         |    |       |
| 今後の取組              | 引き続き、交通の安全を図るため、道路上の落下物、放置物等の解消に努める。   |             |         |    |       |
| 課題                 | 特になし。                                  |             |         |    |       |

| 136 公園施設のバリアフリー化力所数 |                                     |             |      |    |      |
|---------------------|-------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                  | B                                   | 目標<br>(R 7) | 2 力所 | 実績 | 1 力所 |
| 取組内容                | 公園の出入口をバリアフリー化し、車椅子でも出入りできるように整備した。 |             |      |    |      |
| 今後の取組               | 引き続き、整備対象公園においてバリアフリー化の取り組みを進める。    |             |      |    |      |
| 課題                  | 整備公園数が減少しているため、予算確保という課題がある。        |             |      |    |      |

| 137 水辺に近づくスロープの設置力所 |                                                         |             |       |    |       |
|---------------------|---------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                  | A                                                       | 目標<br>(R 7) | 10 力所 | 実績 | 10 力所 |
| 取組内容                | 河川改修にあたって、水辺に近づくようにスロープを設置するなど、障害者の利用に配慮した親水空間の整備を推進する。 |             |       |    |       |
| 今後の取組               | 河川改修の推進に努めるとともに、整備済み箇所の適切な維持管理を行う。                      |             |       |    |       |
| 課題                  | 事業用地の買収や河川改修に時間を要する。                                    |             |       |    |       |

| 138 制度の周知と複数の課の窓口での利用証を交付 |                                                                                                                                      |             |    |    |       |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|-------|
| 評価                        | B                                                                                                                                    | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 704 件 |
| 取組内容                      | 対象者となる車いす利用者、障害者、要介護者、妊産婦、けが人等が、車椅子利用者用駐車区画（3.5m幅）と優先駐車区画（3.5m未満）に駐車できるよう、窓口での申請手続きにより、即日、利用証を交付した。<br>また、複数の窓口で申請手続きを行えるよう庁舎内で調整した。 |             |    |    |       |
| 今後の取組                     | 利用証交付希望者が円滑に申請手続きを行えるように努める。                                                                                                         |             |    |    |       |
| 課題                        | 特になし。                                                                                                                                |             |    |    |       |

| 139 バリアフリー化実施力所数 |                                                                                |             |       |    |       |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価               | A                                                                              | 目標<br>(R 7) | 12 力所 | 実績 | 12 力所 |
| 取組内容             | 横曽根公民館の改築工事が令和 8 年 2 月に完了し、多目的トイレを各フロアに設置したほか、災害時の情報を文字情報で表示するなど、バリアフリー化を推進した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組            | 今後改築を予定している公民館についても、障害者を含む様々な市民の学習活動の拠点として、施設のバリアフリー化を着実に推進していく。               |             |       |    |       |
| 課題               | 特になし。                                                                          |             |       |    |       |

| 140 市内乗入路線バスのノンステップバス導入率 |                                                                  |             |       |    |       |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価                       | A                                                                | 目標<br>(R 7) | 80.0% | 実績 | 84.4% |
| 取組内容                     | 国・県との協調補助により、ノンステップバスを導入する路線バス事業者に対し、車両の購入に要する経費の一部について補助金を交付した。 |             |       |    |       |
| 今後の取組                    | 国・県との協調補助により、ノンステップバスを導入する路線バス事業者に対し、車両の購入に要する経費の一部について補助金を交付する。 |             |       |    |       |
| 課題                       | ノンステップバスの導入台数はバス事業者の経営判断によるところが大きく、導入率も低いことから、引き続き、導入を促進する必要がある。 |             |       |    |       |

## 施策 20

## 防災・防犯対策等の充実

### 取組

- 76 災害時の避難体制の整備
- 77 避難行動要支援者登録制度の充実
- 78 緊急通報システム事業等
- 79 既存建築物耐震改修補助事業の推進
- 80 防犯対策の充実
- 81 障害者向けの交通安全教室の実施

| 評価指標                                                            | 目標<br>R7                                              | 実績<br>R7                                    | 目標<br>R8                                              | 実績見込<br>R8                                             | 目標<br>R9                                               | 目標<br>R10                                              | 目標<br>R11                                              |
|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 141 個別避難計画作成数                                                   | 180 件                                                 | 336 件                                       | 500 件                                                 | 1,000 件                                                | 1,500 件                                                | 2,000 件                                                | 2,500 件                                                |
| 142 避難行動要支援者登録制度登録者数                                            | 4,950 名                                               | 4,761 名                                     | 5,050 名                                               | 5,050 名                                                | 5,150 名                                                | 5,250 名                                                | 5,350 名                                                |
| 143 緊急通報システム<br>NET119の事業の<br>窓口やホームページを<br>活用した市民への普及<br>活動の継続 | 継続                                                    | 87 人                                        | →                                                     | 95 人                                                   | 継続                                                     | →                                                      | →                                                      |
| 144 緊急通報システム<br>事業登録者数                                          | 36 人                                                  | 30 人                                        | 37 人                                                  | 32 人                                                   | 35 人                                                   | 38 人                                                   | 40 人                                                   |
| 145 補助金交付件数                                                     | <診断><br>戸建：10 件<br>共住：1 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：5 件 | <診断><br>戸建：11 件<br>共住：2 件<br><改修><br>戸建：5 件 | <診断><br>戸建：10 件<br>共住：1 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：5 件 | <診断><br>戸建：20 件<br>共住：2 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：10 件 | <診断><br>戸建：20 件<br>共住：2 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：10 件 | <診断><br>戸建：20 件<br>共住：2 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：10 件 | <診断><br>戸建：20 件<br>共住：2 件<br>建築：1 件<br><改修><br>戸建：10 件 |
| 146 防犯教室実施回数                                                    | 60 回                                                  | 60 回                                        | 60 回                                                  | 60 回                                                   | 60 回                                                   | 60 回                                                   | 60 回                                                   |
| 147 埼玉県立特別支援<br>学校での交通安全教室<br>の開催回数                             | 1 回                                                   | 1 回                                         | 1 回                                                   | 1 回                                                    | 1 回                                                    | 1 回                                                    | 1 回                                                    |

| 141 個別避難計画作成数 |                                                                                                                            |             |       |    |       |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|----|-------|
| 評価            | S                                                                                                                          | 目標<br>(R 7) | 180 件 | 実績 | 336 件 |
| 取組内容          | 令和 7 年度市内全地区の対象者に対して計画作成の案内を送付した。                                                                                          |             |       |    |       |
| 今後の取組         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・返送のあった計画書を精査し完成させる。</li> <li>・今年度新規に避難行動要支援者名簿に登録された対象者の方に対して計画書の作成を行う。</li> </ul> |             |       |    |       |
| 課題            | 計画作成にあたって対象者が多く、作成から計画書送付までに時間を要してしまう。                                                                                     |             |       |    |       |

| 142 避難行動要支援者登録制度登録者数 |                                                                                                                                                                                             |             |         |    |         |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 評価                   | B                                                                                                                                                                                           | 目標<br>(R 7) | 4,950 名 | 実績 | 4,761 名 |
| 取組内容                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に支援の必要な障害者等（要支援者）を把握するため、同制度への登録・更新を促進し、災害時に活用できるよう整備を推進している。</li> <li>・平常時から要支援者と接している民生委員・児童委員や消防団、自主防災組織、社会福祉協議会等の福祉関係者とも連携を図っている。</li> </ul> |             |         |    |         |
| 今後の取組                | 継続して同制度の登録・更新を促すための案内を行う。                                                                                                                                                                   |             |         |    |         |
| 課題                   | 情報の登録から、共有までに時間を要する。                                                                                                                                                                        |             |         |    |         |

| 143 緊急通報システム N E T 1 1 9 の事業の窓口やホームページを活用した市民への普及活動の継続 |                                                                                                          |             |    |    |      |
|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|----|------|
| 評価                                                     | A                                                                                                        | 目標<br>(R 7) | 継続 | 実績 | 87 人 |
| 取組内容                                                   | 聴覚や言語に障害のある方でシステムの利用を希望される場合に、事前に登録することで、自身の携帯電話のインターネット接続機能を利用して 119 番通報が行える「緊急通報システム NET119」の利用を促進します。 |             |    |    |      |
| 今後の取組                                                  | 障害福祉課と密に連携し、窓口やホームページで周知活動を行います。                                                                         |             |    |    |      |
| 課題                                                     | 現状の周知方法が窓口やホームページに限られているため、市内の緊急通報システム NET119 の利用対象者となり得る人数に対し、登録者数が少ないことが挙げられます。                        |             |    |    |      |

| 144 緊急通報システム事業登録者数 |                                                                                                                     |             |      |    |      |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価                 | B                                                                                                                   | 目標<br>(R 7) | 36 人 | 実績 | 30 人 |
| 取組内容               | 緊急時にボタンを押すだけで市が委託する民間の受信センターにつながり、状況に応じて消防に通報、救急要請などを行った。また受信センターには 24 時間看護師等が常駐し、健康相談や生活相談に応じ、定期的に電話による安否確認なども行った。 |             |      |    |      |
| 今後の取組              | 引き続き、予算の範囲内において助成する。                                                                                                |             |      |    |      |
| 課題                 | 予算確保という課題がある。                                                                                                       |             |      |    |      |

| 145 補助金交付件数 |                                                                                 |             |                                                    |    |                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------|----|-------------------------------------------|
| 評価          | A                                                                               | 目標<br>(R 7) | <診断><br>戸建：10件<br>共住：1件<br>建築：1件<br><改修><br>戸建：5 件 | 実績 | <診断><br>戸建：11件<br>共住：2件<br><改修><br>戸建：5 件 |
| 取組内容        | 戸建住宅及び共同住宅等建築物の耐震化について、国の補助制度を活用し耐震化を促進することにより安全で安心して暮らせることのできる良好な住環境形成の推進を図った。 |             |                                                    |    |                                           |
| 今後の取組       | 今後も戸建住宅及び共同住宅等建築物の耐震補助金について、ホームページ等で周知を行い耐震化の促進を図る。                             |             |                                                    |    |                                           |
| 課題          | 市内には依然として多数の耐震化されていない建築物があることから、引き続き事業を行っていく必要がある。                              |             |                                                    |    |                                           |



| 146 防犯教室実施回数 |                                   |             |      |    |      |
|--------------|-----------------------------------|-------------|------|----|------|
| 評価           | A                                 | 目標<br>(R 7) | 60 回 | 実績 | 71 回 |
| 取組内容         | 市内小中学校や町会・自治会からの依頼に基づき防犯教室を実施した。  |             |      |    |      |
| 今後の取組        | 継続して市内小中学校や町会・自治会の依頼を基に防犯教室を実施する。 |             |      |    |      |
| 課題           | 実施件数を増加させるため、防犯教室の周知の方法などを検討する。   |             |      |    |      |

| 147 埼玉県立特別支援学校での交通安全教室の開催回数 |                                        |             |     |    |     |
|-----------------------------|----------------------------------------|-------------|-----|----|-----|
| 評価                          | A                                      | 目標<br>(R 7) | 1 回 | 実績 | 1 回 |
| 取組内容                        | 小学部及び中学部に対し、正しい道路の歩き方についての交通安全教室を実施した。 |             |     |    |     |
| 今後の取組                       | 毎年交通安全教室の実施案内を学校へ通知し、教室申込を促進する。        |             |     |    |     |
| 課題                          | 受講者に分かりやすい教室運営を心がける。                   |             |     |    |     |

# 令和 7 年度 川口市障害者福祉計画 評価報告書

---

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 編集・発行 | 川口市 福祉部 障害福祉課                       |
| 発行日   | 令和 8 年 7 月                          |
| 所在地   | 〒332-8601<br>埼玉県川口市青木 2 丁目 1 番 1 号  |
| 電話    | 048-259-7920                        |
| FAX   | 048-259-7943                        |
| メール   | 083.03000@city.kawaguchi.saitama.jp |